IEEE 1394インターフェイスPCカード

CB1394シリーズ

取扱説明書

65523-02

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、株式会社アイ・オー・データ機器サポートセンターまでご連絡ください。
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
5) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す場合には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
6) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
7) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。
また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
8) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
9) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
10) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
11) お客様は、本製品を一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
12) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
13) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
14) テレビやビデオの映像は著作権法により保護されています。これらの映像は個人で楽しむ以外に利用しないでください。

●I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
●Microsoft,Windows は、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
●i.LINKならびにi.LINKのロゴは、ソニー株式会社の商標です。
●VideoStudio,Cool 3Dは、Ulead System社の商標です。
●その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

安全にお使いいただくために

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

■警告及び注意事項

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「発火注意」を表す絵表示

この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「分解禁止」を表す絵表示

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告

厳守

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。

分解禁止

本製品をご自分で修理・分解・改造しないでください。

火災や感電、やけど、故障の原因になります。
修理は弊社修理係にご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有償修理となる場合があります。

電源プラグを抜く

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。

電源がある場合は、電源を切ってコンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

発火注意

本製品の取り扱いは、必ず取扱説明書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。

- 接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。火災や故障の原因になります。
- 接続するコネクタやケーブルを間違えると、パソコン本体やケーブルから発煙したり火災の原因となります。

本製品を濡らしたり、水気の多い場所で使用しないでください。

お風呂場、雨天・降雪中、海岸・水辺での使用は火災・感電・故障の原因となります。

⚠ 注意

本製品を使用中に誤った操作をしてデータが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。
故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。

本製品は以下のような場所（環境）で保管・使用しないでください。

故障の原因となることがあります。

- ●振動や衝撃の加わる場所
- ●直射日光のあたる場所
- ●湿気やホコリが多い場所
- ●温湿度差の激しい場所
- ●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- ●強い磁力電波の発生する物の近く
  （磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- ●水気の多い場所（台所、浴室など）
- ●傾いた場所
- ●本製品に通風孔がある場合は、その通風孔をふさぐような場所
- ●腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_Xなど）
- ●静電気の影響の強い場所
- ●保温性・保湿性の高い（ジュータン・カーペット・スポンジ・ダンボール箱・発砲スチロールなど）場所

本製品は精密部品です。以下のことにご注意ください。

- ●落としたり、衝撃を加えない
- ●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- ●重いものを上にのせない
- ●そばで飲食・喫煙などをしない
- ●本製品内部に液体、金属、たばこの煙などの異物を入れない

アクセスランプがある製品では、アクセスランプ点灯中に電源を切ったり、パソコンをリセットしないでください。
故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。

お読みになる前に

呼び方	意　味
CB1394シリーズ	CB1394およびCB1394/DVCの総称
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System
Windows 98 SE	Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating System
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System
Windows	Windows Me、Windows 98 Second EditionおよびWindows 2000の総称
1394	IEEE 1394-1995およびIEEE 1394a-2000の略称
i.LINK	IEEE 1394-1995仕様およびその拡張仕様の名称としてSONYが提唱している呼称

もくじ

安全にお使いいただくために…… i
お読みになる前に…… iv
もくじ…… v

はじめに　使う前の確認

本PCカードを使えば …… 1
本PCカードおよび接続機器が使えるまでの流れ …… 2
箱の中には …… 4
動作環境…… 6
各部の名前・機能…… 9
特徴…… １０

準備する　使う前の準備 ……13

ステップ1　Windows 98 SE自体を更にアップデートする……１６
(Windows 98 SEのみ)

ステップ2　本PCカードを取り付ける ……１４
(Windows Me、Windows 98 SE、Windows 2000共通)

ステップ3　ドライバソフトをインストールする……２２
(Windows 98 SEのみ)

ステップ4　本PCカードがパソコンに認識されているかを確認する……２９
(Windows Me、Windows 98 SE、Windows 2000共通)
・Windows Meの場合 ……２９
・Windows 98 SEの場合……３３
・Windows 2000の場合……３６

ステップ5　『VideoStudio』をインストールする……３９
(CB1394/DVCのみ)

ステップ6　『COOL 3D』をインストールする……４０
(CB1394/DVCのみ)

補足　OS上で本PCカードを取り外す方法……４１
・Windows 98 SEの場合……４２
・Windows Me/2000の場合 ……４６

活用する① ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・49

DV機器を接続する場合

ステップ1　基本操作について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５０
ステップ2　内蔵ﾊｰﾄﾞﾃﾞｨｽｸのDMA設定を確認する・・・・・５１
（Windows 98 SEのみ）
ステップ3　DV機器を接続する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５４
ステップ4　DV機器が正しく接続されているかを確認する・・・５７
・Windows Me/98 SEの場合 ・・・・・・・・・・・・５７
・Windows 2000の場合・・・・・・・・・・・・・・・・５８
ステップ5　DV機器をWindows上から操作する・・・・・・・・６１
ステップ6　DV機器を取り外す場合 ・・・・・・・・・・・・・・・６２

活用する② ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・63

ストレージ機器 [ﾊｰﾄﾞﾃﾞｨｽｸやMOﾄﾞﾗｲﾌﾞ等] を接続する場合

ステップ1　基本操作について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６４
ステップ2　ストレージ機器を接続する ・・・・・・・・・・・・６５
ステップ3　ストレージ機器が正しく接続されているかを確認する・・・６７
・Windows Me/98 SEの場合 ・・・・・・・・・・・・６７
・Windows 2000の場合・・・・・・・・・・・・・・・・７１
ステップ4　ストレージ機器の正しい取り外し手順・・・７４

ふろく ……79

・正常に動作しない場合 …… ８０

・接続機器への書き込み/書き戻し
ができない場合 …… ８６

・Windows Me/98 SEでのドライバの更新 … ８７
・Windows 2000でのドライバの更新 …… ９４

・本PCカードに２台以上の機器を接続する場合 … １０１

・用語解説 …… １０５

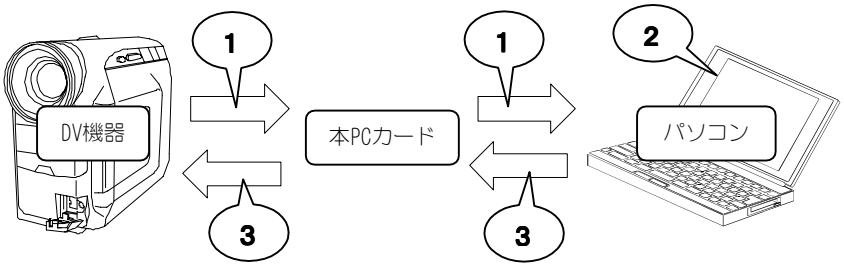
・仕様 …… １０６

サポートセンターへのお問い合わせ …… １０７
サービス品に関するお問い合わせ …… １０８
サポートソフトのバージョンアップ …… １０９
オプション品について …… １１０
保証について …… １１１
修理について …… １１２

本PCカードを使えば

● DVビデオやDVデッキをつないで、あなたもミニ編集者に…

DVテープからの映像をパソコンに取り込んで、編集およびDVテープへの録画をパソコン上でできます。



① DV機器からパソコンに映像データを読み込む（キャプチャ）
② 読み込んだデータをUlead VideoStudio※で編集する
※ Ulead VideoStudioはCB1394/DVCにのみ添付。
③ 編集したデータをDV機器に書き込む（録画）

● IEEE 1394対応のストレージ機器（ハードディスクやMOドライブ等）も接続できる

Plug&PlayやHot Plugに対応しておりますので、Windows起動状態でもストレージ機器を接続したり、取り外したりできます。
最大63台の機器を接続できます。（デイジーチェーン型接続のみの場合には、最大16台まで）
機器には、内蔵電源やACアダプタにより自ら電源供給を行うもの（セルフパワー）と1394ケーブルから電源供給を受けるもの（バスパワー）の２種類のタイプが存在します。
本PCカードでは、セルフパワーの機器はもとより、別売のACアダプタ※（1394-ACADP）を使用すればバスパワーの機器を使用することもできます。
※別売のACアダプタ（1394-ACADP）については、【オプション品について】(110ページ)参照。

本PCカードおよび接続機器が使えるまでの流れ

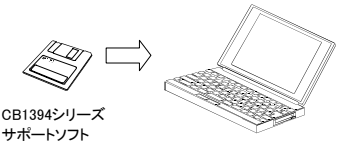
必ず行ってください

はじめに

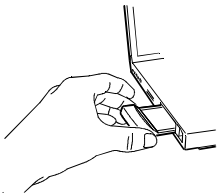
箱の中身を確認します。 ……4ページ
対応しているパソコンや
OSを確認します。 ……6ページ

準備する

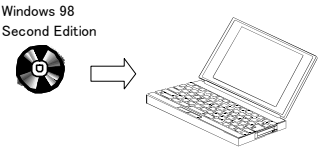
Windows 98 SEをお使いの場合は、
添付の「CB1394シリーズサポートソフト」ディスクで、Windows 98 SEのアップデートを行います。……16ページ



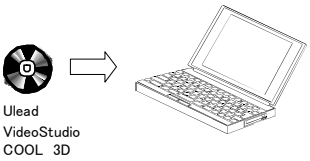
本PCカードをパソコンに取り付けます。
……20ページ



Windows 98 SEをお使いの場合は、
「Windows 98 SE」CD-ROMから
ドライバソフトをインストールします。
……22ページ



CB1394/DVCの場合は、付属の
「VideoStudio」(CD-ROM)や
「COOL 3D」(CD-ROM)もインストール
します。 ……39,40ページ



使ってみよう

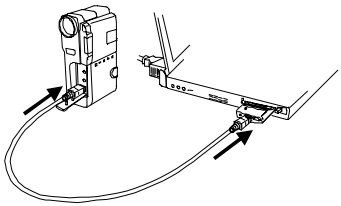
活用する①
（DV機器編）

基本操作を確認します。……50ページ

DV機器を接続します。……54ページ

DV機器が正しく接続されて
いるかを確認します。
……57ページ

DV機器をWindows上から
操作します。…61ページ

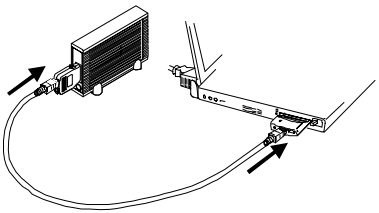


活用する②
（ﾊｰﾄﾞﾃﾞｨｽｸ、MOドライブ等のストレージ機器編）

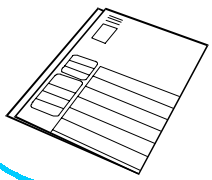
基本操作を確認します。……64ページ

1394対応のハードディスク、MOドライブ等のストレージ機器を接続します。
……65ページ

ストレージ機器が正しく接続されて
いるかを確認します。
……67ページ



ユーザー登録をしよう



登録方法は、添付のユーザー登録カードをご覧ください。

箱の中には

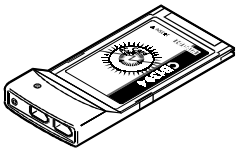
箱の中には以下のものが入っています。

□にチェックをつけながら、ご確認ください。

万一不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

お願い：箱や梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にご使用ください。

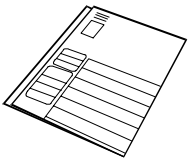
□ **IEEE 1394インターフェイス PCカード**



☑ **CB1394シリーズ取扱説明書**

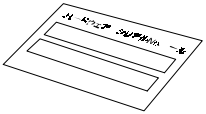
□ **CB1394シリーズサポートソフト**

□ **ユーザー登録カード**



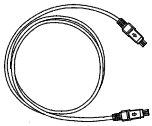
□ **ハードウェア保証書**

□ **ハードウェアシリアルNo. シール**



●以下はCB1394/DVCのみの添付品です。

□ **DVケーブル** ［6ピン⇔4ピン（1.5m）］



＜サービス品＞

以下はすべてサービス品に付き、弊社ではサポート致しかねます。製品の内容に関してはユーリード社にお問い合わせください。
（別紙『Ulead Systems お客様保管用カード』参照）

☐ **CD-ROM（2枚）**

［日本語版Ulead VideoStudio 5 SE］※

※OEM版のため、店頭販売品と比べて以下の差があります。

・GIFに対応していません。
・サンプルデータ（画像/オーディオ）が入っていません。

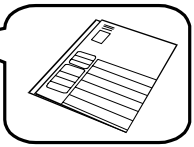
［日本語版Ulead COOL 3D SE］

☐ **Ulead Systems お客様保管用カード（1枚）**
（お問い合わせ先を記載しています。）

☐ **UleadシリアルNo.シール（1枚）**

※Ulead製品の取扱説明書はCD-ROM内にPDFデータとして収録されています。

ユーザー登録はお済みですか？
「ユーザー登録カード」に登録方法が記載されています。登録してから次ページへ進みましょう！



サービス品に関するお問い合わせ

添付のサービス品『VideoStudio』および『COOL 3D SE』に関しては、ユーリード社まで

●お問い合わせ先
ユーリードシステムズ株式会社ユーザーサポート係

電話番号	**03-5491-5662**
FAX番号	**03-5491-5663**
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ	**http://www.ulead.co.jp**
E-mail	**support@ulead.co.jp**

受付時間　平日 10:00～12:00　13:00～17:00

動作環境

対応機種及び対応ＯＳ

機種	ＯＳ（日本語版）
CardBus対応PCカード(TypeⅡ)スロット搭載の下記の機種 ・PC98-NXシリーズ ・DOS/Vマシン 注）DV端子(1394端子)を標準搭載している機種には使用できません。また、他の1394インタフェースとの併用もできません。	・Windows Me ・Windows 98 Second Edition ・Windows 2000

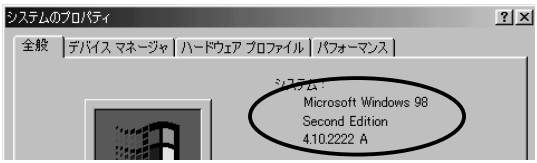
注意

・本PCカードは、Windows Me、Windows 98 SEおよびWindows 2000のみ対応です。
※Windows 98をお使いの場合は、Windows 98 SEへのアップグレードが必要です。
Windows 98を含む他のOSからWindows Me/98 SE/2000への変更方法や制限事項については、パソコン本体メーカーならびにOSメーカー各社へお問い合わせください。
・Windows Me/98 SE/2000がご使用の機種に対応していないと、本製品が正常に動作しない場合があります。正常に動作しない場合は、一度本体メーカやOSメーカ各社へお問い合わせください。
・パソコン本体の性能によっては、接続したDV機器からの映像のキャプチャやDV機器への書き戻しの際、コマ落ちや音飛びが発生する場合があります。

＜Windows 98 SEの確認方法＞

①［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

②［全般］タブで［システム］欄に**“Microsoft Windows 98 Second Edition”**と表示されていれば、Windows 98 SEです。



ＤＶ機器を使用する場合に必要な環境

DV機器を使用する場合に、CB1394/DVC添付のアプリケーションソフト（Ulead VideoStudio）を動作させるには、Windows Me、Windows 98 SEまたはWindows 2000が動作する以外に、更に以下の環境が必要です。

CPU	MMX Pentium166MHz以上 （PentiumⅡ 266MHz以上推奨）
メモリ	64Mバイト以上（128Mバイト以上推奨）
ハードディスク	・UltraATA/33以上 動画ファイル保存用として以下を推奨 弊社製HDA-i20G/1394、HDA-i30G/1394 ・150Mバイト以上の空き容量（4Gバイト以上推奨） 150Mバイトは、ドライバソフト等のインストール領域です。 150Mバイト以外に静止画および動画ファイル保存用として空き領域が必要です。 例）・１分間の動画キャプチャには約220Mバイトの空き容量が必要です。（2Gバイトの空き容量がある場合は、約9分30秒の動画キャプチャを行うことができます。） ・静止画１枚につき、１Mバイトの空き容量が必要です。
グラフィック	解像度800×600ハイカラー以上表示できること （1024×768フルカラー以上推奨）
CD-ROMドライブ	アプリケーションソフトのインストール用
サウンド環境	音声再生用

注意

・CPU速度、ハードディスクの転送速度、その他使用状況により動画キャプチャ書き戻し時にコマ落ち・音飛びが発生する場合があります。
・DVHS、CSチューナー等には対応しておりません。

動作確認済みのＤＶ機器一覧

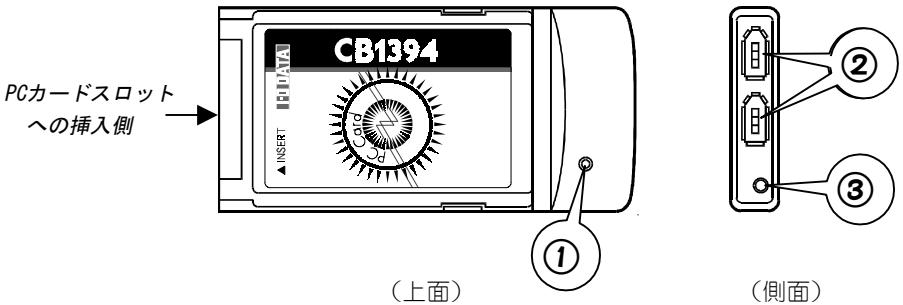
注意

・対応機種は随時更新いたします。最新情報は弊社ホームページ（http://www.iodata.co.jp/）をご覧ください。
・この一覧表に記載の機種は、Windows 98 SE及びWindows 2000で確認を行った機種です。
Windows Meでの確認結果は、弊社ホームページをご覧ください。

メーカー	DV機種名
Canon	DM-CV11, DM-FV1, DM-FV2, DM-FV10, DM-MV1, DM-XV1, DM-PV1, IXY DV
Panasonic	NV-C3, NV-C5, NV-DE3, NV-DJ100, NV-DM1, NV-DS5, NV-DS7, NV-DS9, NV-DS80K, NV-DS200, NV-DV10000
SHARP	VL-DC5, VL-FD1, VL-PD3, VL-PD7
SONY	DCR-TRV5, DCR-TRV7, DCR-TRV9, DCR-TRV10, DCR-TRV20, DCR-TRV220K, DCR-TRV620K, DCR-TRV900, DCR-PC1, DCR-PC3, DCR-PC7, DCR-PC100, DCR-TRV310K, DCR-TRV110K, DCR-VX1000, DCR-VX2000, DV-D900, DVMC-DA2, WV-D700, WV-D9000, WV-D10000, WV-DR5
Victor	GR-DVA1, GR-DVA10, GR-DVA11K, GR-DVL※, GR-DVL7, GR-DVL700, GR-DVX7, GR-DVX9, GR-DVY, HR-DVS1

※　カメラの仕様により出力のみ対応です。書き戻しには対応しておりません。

各部の名前・機能



No	名前	機能
①	LED	CB1394をパソコンにとりつけると緑色に点灯します。 接続した1394機器とのデータのやりとりを行った場合は、赤色に点灯します。
②	1394ポート (外付機器接続用 ：6ピンタイプ)	1394対応の外付機器を接続するポートです。 どちらに接続しても構いません。 **・4ピンコネクタタイプの1394機器（主にDV機器）と接続する場合** CB1394/DVCの場合、添付のDVケーブル(6ピン⇔4ピン)で接続します。 CB1394の場合、機器に付属、あるいは市販の1394ケーブル(6ピン⇔4ピン)で接続します。 **・6ピンタイプの1394機器（主にストレージ機器）と接続する場合** 機器に付属、あるいは市販の1394ケーブル(6ピン⇔6ピン)で接続します。
③	電源入力端子	別売オプションのACアダプタ（1394-ACADP）を接続することにより1394機器の電源供給を行います。 （【オプション品について】(110ページ)参照） ※セルフパワーの機器を接続する場合、オプションのACアダプタを接続する必要はありません。

特　徴

◎デジタル品質の映像・データをパソコンと接続機器間でダイレクト転送

OHCI※準拠IEEE 1394インターフェイスです。
DV(i.LINK)端子搭載のDV機器とパソコンとの双方向のデジタルデータ転送が可能です。

※ Open Host Controller Interfaceの略。

◎６ピンタイプのポートを２ポート用意

◎接続機器への電源供給も可能

1394対応の接続機器には、自ら電源を供給するもの（セルフパワー）と、1394ケーブルから電源供給を受けるもの（バスパワー）の２種類があります。
本PCカードでは、セルフパワーの機器はもとより、別売のACアダプタ※（1394-ACADP）を使用すればバスパワーの機器を使用することもできます。

※ 別売のACアダプタ（1394-ACADP）については、【オプション品について】(110ページ)参照

◎1394対応のハードディスクやMOドライブ等のストレージ機器にも対応

1394に対応のハードディスクやMOドライブ等の外部記憶装置の接続も可能です。

◎ Plug&PlayやHot Plugに対応し、最大63台の1394機器を接続可能

接続時の Plug&PlayやHot Plugの対応。
増設時のデイジーチェーンやスター型接続の対応など、最大63台の機器を接続可能です。
（デイジーチェーン接続のみの場合には、最大16台まで。詳細は97ページを参照してください。）
また、機器間を接続するケーブル長は最大4.5mまで可能です。
（接続機器によっては接続条件などが発生する場合があります。
詳細は、接続機器メーカーにお問い合わせください。）

◎日本語版Ulead VideoStudio 5 SEを添付（CB1394/DVCのみ）

Ulead VideoStudioは、ホームビデオの編集に最適なアプリケーションソフトです。
ハードディスクへの映像の取り込み(キャプチャ)はもちろん、編集や100種類以上の特殊効果による加工が簡単に行えます。
ビデオにタイトルや見出しを挿入したり重ねたりもできます。
マイクからの肉声や音楽CDから直接BGMを取り込み、映像とリンクすることも可能です。
編集結果をテープに記録することも可能です。

◎日本語版Ulead COOL 3D SEを添付（CB1394/DVCのみ）

Ulead COOL 3DはWebページ、デジタルビデオ、マルチメディアタイトル、プレゼンテーション、レポートなどに使う3Dタイトルの作成に最適なツールです。
お好きな文字を入力し、時間の経過と文字の位置をドラッグ&ドロップで指定すれば、文字が動画として移動します。さらに、マウスによる複雑な動きや予め用意された「爆発」などの特殊効果を加えることにより画面の中を3Dテキストが思い通りに動き回ります。
個々のオブジェクトにはそれぞれ異なるテクスチャ、色、フォント、斜面、アニメーションパスを指定することができます。さらに、イメージをAVI、JPEG、BMP、GIFアニメーションなどに出力することもできるので、オープニングクレジットやエンディングクレジットに特殊効果を用いたフルフレーム、フルモーションのビデオを作成することができます。

注意

- 『日本語版Ulead VideoStudio 5 SE』および『日本語版Ulead COOL 3D SE』は、CB1394/DVCのみ添付しております。
  CB1394には添付しておりません。
- 『日本語版Ulead VideoStudio 5 SE』および『日本語版Ulead COOL 3D SE』は、弊社ではサポートしておりません。
  これらに関してはユーリード社にお問い合わせください。
  （お問い合わせについては、【サービス品に関するお問い合わせ】(108ページ)を参照してください。）

MEMO

準備する

使う前の準備

ここでは本PCカードを使用する前の準備について説明します。

ステップ1

Windows 98 SE自体を更にアップデートする

(Windows 98 SEのみ)

Windows 98 SEをお使いの場合は、添付のサポートソフトでWindows 98 SE自体をさらにアップデートする必要があります。 (16ページ)

▼

ステップ2

本PCカードを取り付ける

(Windows Me、Windows 98 SE、Windows 2000共通)

本PCカードをPCカードスロットに取り付けます。 (20ページ)

▼

ステップ3

ドライバソフトをインストールする

(Windows 98 SEのみ)

本PCカードを使えるようにするためのドライバソフトをインストールします。 (22ページ)

▼

ステップ4

本PCカードがパソコンに正常に認識されているかを確認する

(Windows Me、Windows 98 SE、Windows 2000共通)

本PCカードが正しくパソコンに認識（接続）されているかどうかを確認します。 (29ページ)

▼

ステップ5 (CB1394/DVCのみ)

VideoStudioをインストールする

CB1394/DVC添付の『日本語版Ulead VideoStudio』をインストールします。 (39ページ)
詳細は、別冊『Ulead VideoStudio』取扱説明書を参照してください。

▼

ステップ6 (CB1394/DVCのみ)

COOL 3Dをインストールする

CB1394/DVC添付の『日本語版Ulead COOL 3D』をインストールします。 (40ページ)
詳細は、CD-ROM内の取扱説明書データ（PDFファイル）を参照してください。

本PCカードをご使用いただくにあたり、一部の機能に制限などが発生する場合があります。
また、操作方法によっては機器およびディスクの破損もしくはデータの消失、またはWindowsの正常動作の妨げとなりますので以下の注意事項を良くお読みいただきご使用ください。

注意

本PCカードは、Windows Me, Windows 98 SEおよびWindows 2000のみ対応です。
※Windows 98をお使いの場合は、Windows 98 SEへのアップグレードが必要です。
Windows 98を含む他のOSからWindows Me, Windows 98 SEおよびWindows 2000への変更方法や制限事項については、パソコン本体メーカーならびにOSメーカー各社へお問い合わせください。

注意

1394機器に関する注意事項

1394機器のつなげ方、取り外し方、および使い方については、各社の1394機器の取扱説明書を参照してください。誤った操作方法は機器およびディスクの破損、もしくはデータの消失、またはWindowsの正常動作の妨げとなりますのでご注意ください。

・1394機器は電源をONにしてから、本製品につなげてください。
1394機器の電源がOFFの状態で本製品につなげると、
→1394機器が認識されないなどの現象が発生し、正常動作いたしません。
・1394機器の動作中に、ケーブルを取り外したり、電源を切ることはおやめください。
・複数の1394機器をつないだ場合、他の機器が動作している時に動作していない機器のケーブルを取り外したり、電源を切ることはおやめください。また、1394機器の動作中に、他の1394機器を接続することも正常動作の妨げになる場合があります。

※1394機器が正常に動作しない場合や認識されない場合は、いったんケーブルを抜いてから1394機器の電源の入れ直しを行い、1394機器の電源がONの状態で再度接続してください。また、接続する1394機器によっては上記以外の制限事項がありますので、必ず各社1394機器の取扱説明書も参照してください。
※アプリケーション等から1394機器が認識されない場合は、Windowsを再起動してお試ください。

注意

スタンバイモードの制限事項

本製品はスタンバイモードには対応しておりません。スタンバイモードは使用しないでください。※

※［コントロールパネル］→［電源管理のプロパティ］で、電源設定タブのシステムスタンバイの設定を［なし］に設定してください。［スタート］→［Windowsの終了］→［スタンバイ］は実行しないでください。また、パソコン本体およびキーボード上のスタンバイ機能のスイッチ（ボタン）は使用しないでください。

ステップ1 Windows 98 SE自体を更にアップデートする(Windows 98 SEのみ)

Windows Me, Windows 2000 をお使いの場合

【ステップ2】 20ページへ

Windows 98 SEをお使いの場合は、Windows 98 SE自体を更にアップデートする必要があります。

アップデートは添付の「CB1394シリーズサポートソフト」で行います。

※このソフトウェアは、Windows 98をWindows 98 SEにアップデートするソフトウェアではありません。

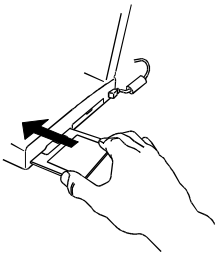
※フロッピーディスクドライブのない機種の場合、[スタート]から[Windows Update]を実行する方法もあります。ただし、インターネットへの接続環境が必要です。

注意

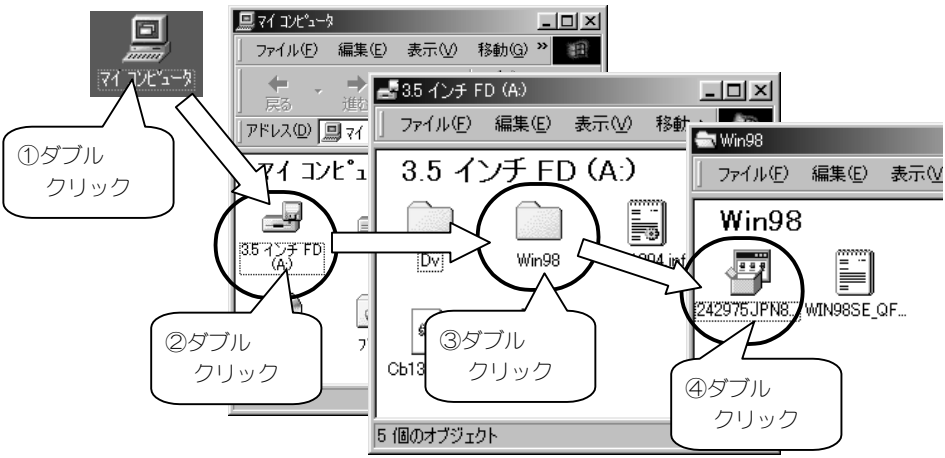
ここではまだパソコンに本PCカードを取り付けないでください。

1 **Windows 98 SEを起動します。**

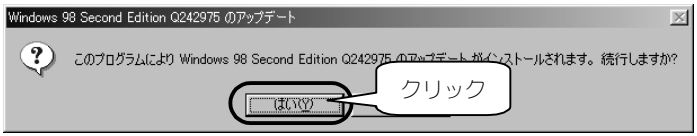
2 **「CB1394シリーズサポートソフト」ディスクをフロッピーディスクドライブに挿入します。**



3　[マイコンピュータ]→[3.5インチFD]→[Win98]→[242975JPN8]を順にダブルクリックします。

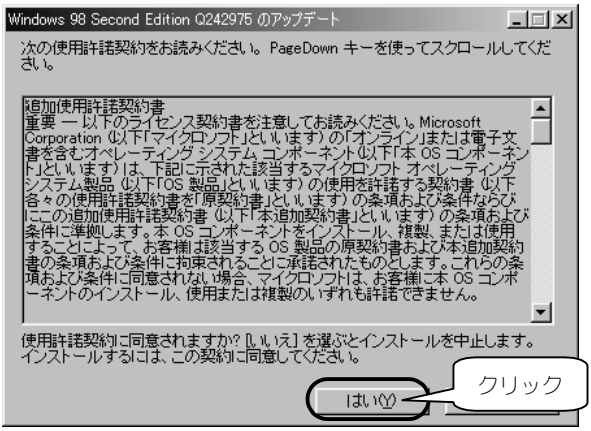


4　[はい]ボタンをクリックします。



5 内容に同意するなら、[はい]ボタンをクリックします。

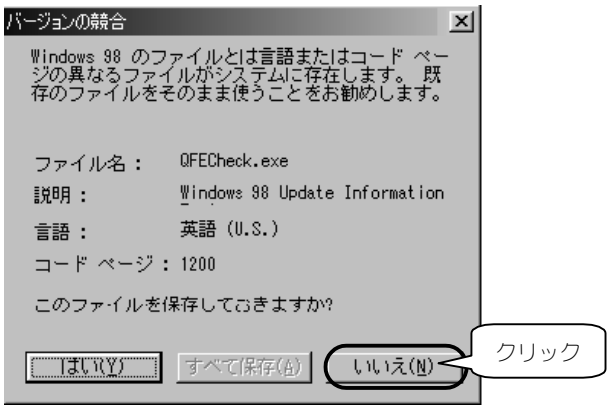
使用許諾契約書の内容に同意する場合のみ、［はい］ボタンをクリックします。



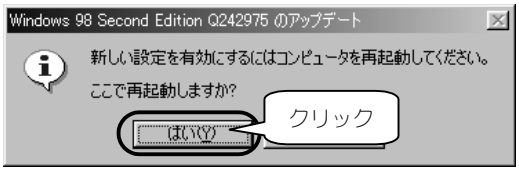
注意

このアップデートを行うと、元に戻すことはできません。内容をしっかりとご覧ください。

6 以下の画面が表示された場合は、[いいえ]ボタンをクリックします。



7 [はい]ボタンをクリックし、パソコンを再起動します。



以上でWindows 98 SEのアップデートは終了です。

ステップ２

本PCカードを取り付ける

(Windows Me、Windows 98 SE、Windows 2000共通)

ここでは、本PCカードをパソコンのPCカードスロットへ取り付ける手順について説明します。

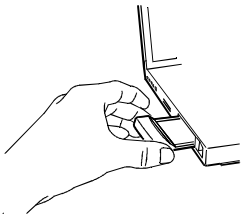
注意

1) ここではまだ本PCカードに1394機器は接続しないでください。
2) 【ステップ３】(22ページ)のWindows 98 SEでのドライバソフトのインストールには、CD-ROMドライブが必要な場合があります。
Windows 98 SEがプリインストールされていないモデルで、PCカード経由のCD-ROMドライブをお使いの場合で、PCカードスロットが１つしか無い場合は、以下の手順を行う前に、先に「Windows 98 SE」CD-ROMから以下のファイルをパソコンの任意のフォルダにコピーしておく必要があります。

CD-ROM内の WIN98フォルダ内にある BASE6.CABファイル

コピー後、【ステップ３】(22ページ)でその任意のフォルダを指定します。

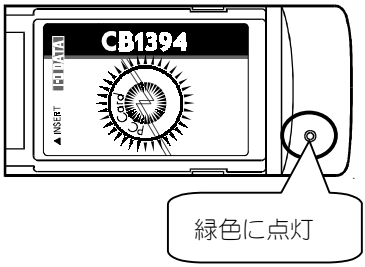
1 **本PCカードをラベル面を上にして、PCカードスロットに挿入します。**
奥まで確実に挿入してください。



挿入時のポイント

・パソコンの電源が入っている状態で、本 PC カードを挿入します。
・必ずカードのラベル面を上にして挿入してください。
・イジェクトボタンが飛び出すまで、しっかりと奥まで挿入してください。
・２段の PC カードスロットの場合で、本製品以外に他の PC カードも同時に使用する場合には、本製品を上側の PC カードスロットに挿入してください。
※他の PC カードの形状によっては、上側の PC カードスロットに挿入できない場合があります。その場合、同時に使用することはできません。

2 **挿入後、本PCカードのLEDが緑色に点灯していることを確認してください。**



この後、以下へお進みください。

Windows 98 SEの場合 → **次ページへ**

Windows Me、Windows 2000の場合 → **【ステップ４】29ページへ**

ステップ３ ドライバソフトをインストールする(Windows 98 SEのみ)

Windows Me、Windows 2000 をお使いの場合

【ステップ４】 29ページへ

ここでは、Windows 98 SEで本PCカードを使用する場合に必要となるドライバソフトのインストールについて説明します。
Windows Me、Windows 2000の場合は、インストールの必要はありません。
【ステップ４】(29ページ)へお進みください。

ドライバソフトとは？

各種ハードウェアを制御するソフトウェアです。
一般に新たなハードウェアを追加する場合、Windowsに標準的に組み込まれている以外は、ドライバソフトも追加登録する必要があります。
また、追加登録することを「インストールする」といいます。

インストール前のポイント

①「Windows 98 SE」の CD-ROM をご用意ください。
　インストール時に、「Windows 98 SE」CD-ROM が必要な場合があります。
②本 PC カードが正しく取り付けられているかを確認してください。
③1394 機器はまだ接続しないでください。

注意

ここではまだ本PCカードにDVカメラ等の1394機器は接続しないでください。

※機器を接続したまま、パソコンの電源を入れた場合は正常にインストールできない場合があります。
1394機器を接続したままパソコンの電源を入れた場合は、次ページの手順２で［キャンセル］ボタンをクリックし、Windows 98 SEを終了後、機器を取り外し、再度パソコンを起動してください。

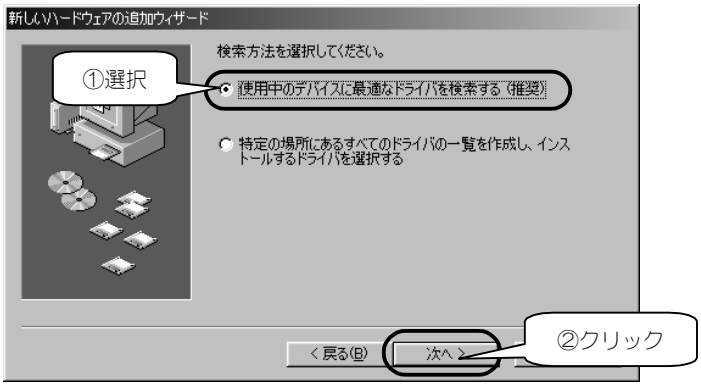
1 以下の画面が表示されたら、[次へ]ボタンをクリックします。

[Texas Instruments OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller]と表示されていることを確認してください。

このインストール画面が表示されない場合は…

「正常に動作しない場合」の 81 ページをご参照ください。

2 [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)]を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

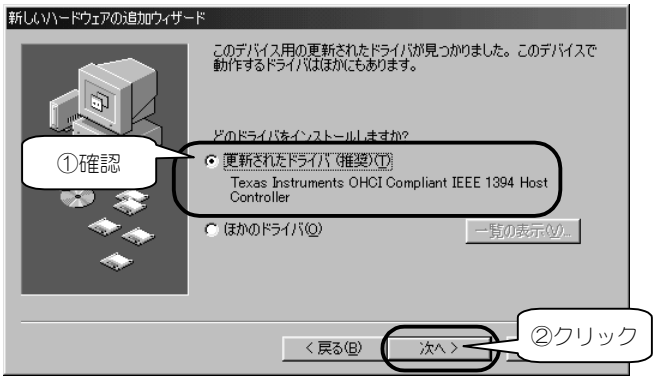


3 すべてのチェックを外し、[次へ]ボタンをクリックします。

※ 選択肢のチェックを入れる必要はありません。（選択されている場合はすべてのチェックを外してください。）

4 [次へ]ボタンをクリックします。

[更新されたドライバ（推奨）]が選択されていることを確認してから[次へ]ボタンをクリックしてください。



5 [次へ]ボタンをクリックします。

ファイルのコピーが始まります。

6 [ディスクの挿入]画面が表示される場合があります。

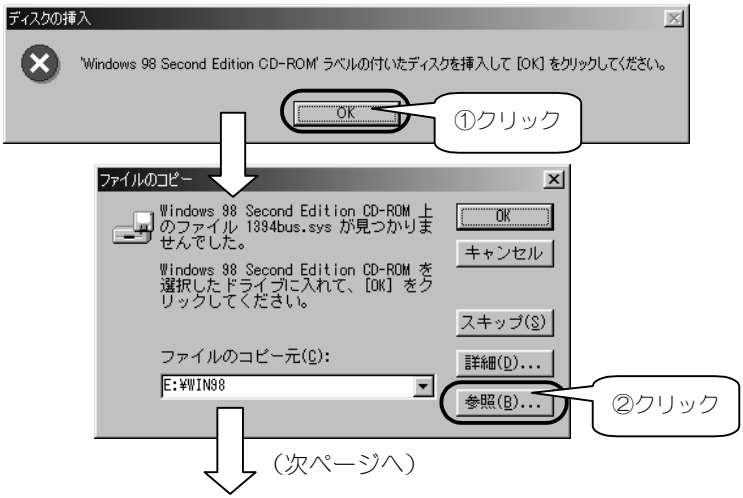
表示されない場合 ⇒ そのまま手順7(27ページ)へお進みください。

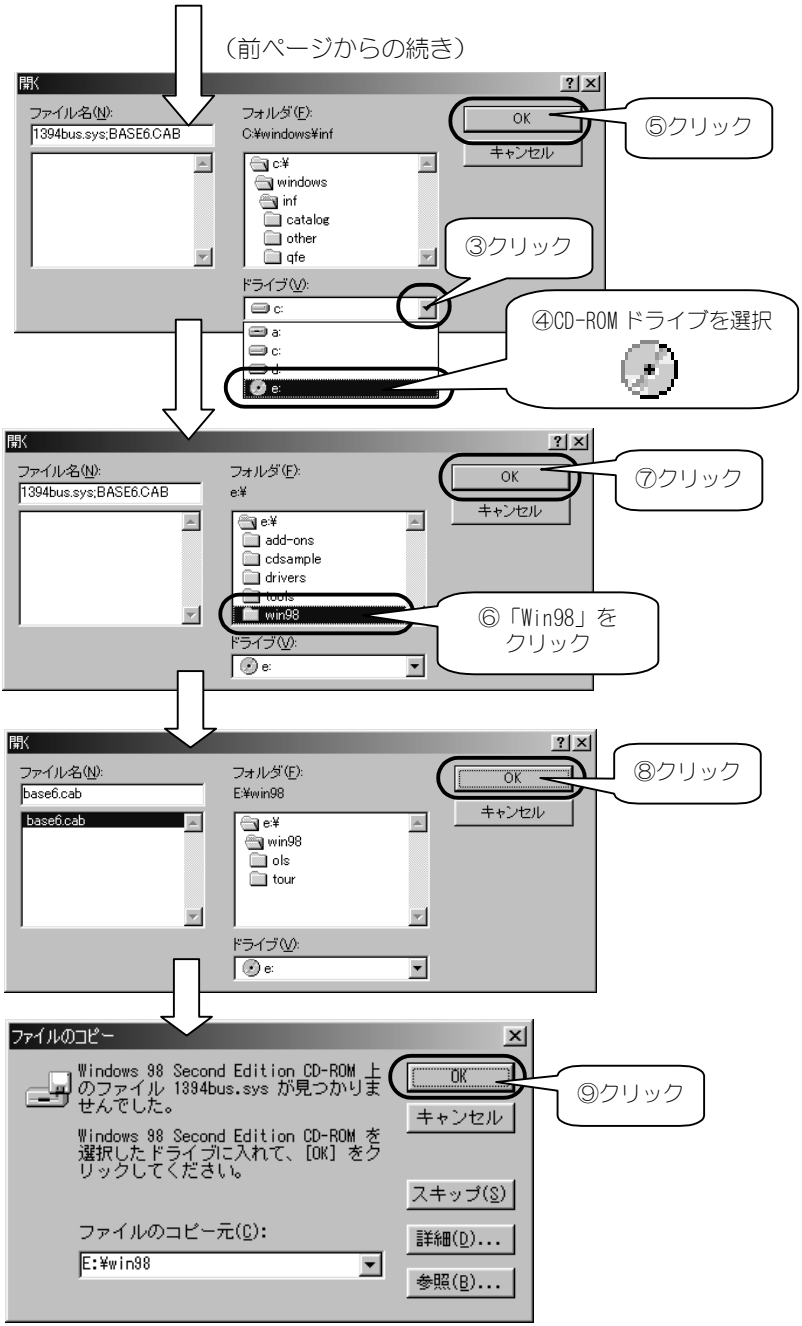
表示された場合

⇒ 「Windows 98 SE」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットし、[OK]ボタンをクリックします。

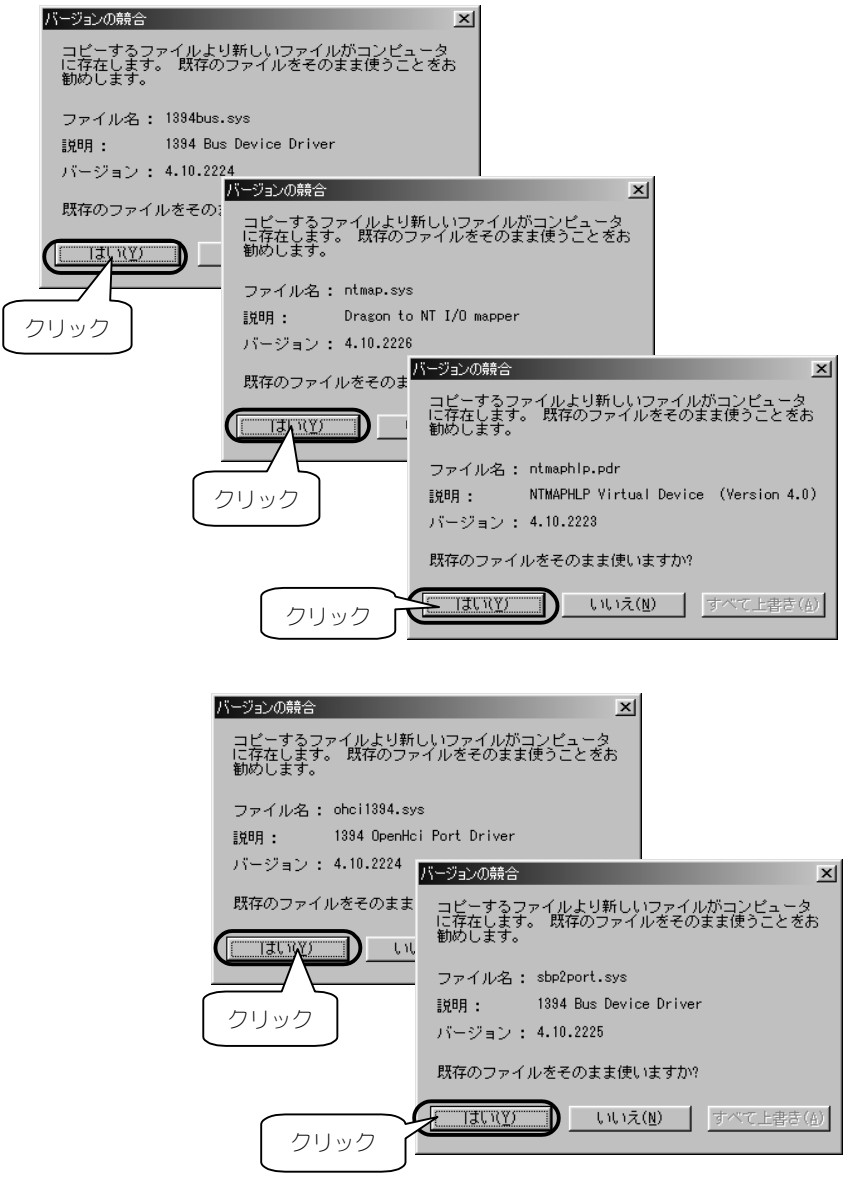
[ファイルのコピー]画面で、[参照]ボタンをクリックして、CD-ROM ドライブ（ここではE：）内の「Win98」を指定します。

指定後、[OK]ボタンをクリックします。




（前ページからの続き）
開く
ファイル名(N):
1394bus.sys;BASE6.CAB
フォルダ(F):
C:¥windows¥inf
OK
キャンセル
⑤クリック
c:¥
windows
inf
catalog
other
qfe
③クリック
ドライブ(V):
c:
a:
c:
d:
e:
④CD-ROM ドライブを選択
開く
ファイル名(N):
1394bus.sys;BASE6.CAB
フォルダ(F):
e:¥
OK
キャンセル
⑦クリック
e:¥
add-ons
cdsample
drivers
tools
win98
⑥「Win98」をクリック
ドライブ(V):
e:
開く
ファイル名(N):
base6.cab
フォルダ(F):
E:¥win98
OK
キャンセル
⑧クリック
base6.cab
e:¥
win98
ols
tour
ドライブ(V):
e:
ファイルのコピー
Windows 98 Second Edition CD-ROM 上のファイル 1394bus.sys が見つかりませんでした。
Windows 98 Second Edition CD-ROM を選択したドライブに入れて、[OK] をクリックしてください。
OK
キャンセル
⑨クリック
スキップ(S)
詳細(D)...
参照(B)...
ファイルのコピー元(C):
E:¥win98

7 以下の[バージョンの競合]画面が表示された場合は、すべて[はい]ボタンをクリックします。



8 [完了]ボタンをクリックします。

9 手順6で「Windows 98 SE」CD-ROMを使用した場合は、CD-ROMを取り出します。

以上で、ドライバのインストールは終了です。
次に、本PCカードがパソコンに正常に認識されているか（正しくインストールされているか）を確認します。次ページへお進みください。

参考

インストールが正常に終了すると、次回からはそのまま使用できます。
（次回から23ページの手順1以降のインストール画面は表示されません。）

ステップ４

本PCカードがパソコンに認識されているかを確認する

(Windows Me、Windows 98 SE、Windows 2000共通)

本PCカードが正常にパソコンに認識されているか（正常にインストールされたか）を確認してみましょう。

・Windows Meの場合は以下を参照してください。
・Windows 98 SEの場合は33ページを参照してください。
・Windows 2000の場合は36ページを参照してください。

Windows Meの場合

デバイスマネージャでインストールが正しく行われたか確認します。
デバイスマネージャは下記の2種類の方法のうちいずれかで開いてください。

＜方法１＞

1 **[マイコンピュータ]を右クリックし、[プロパティ]をクリックします。**

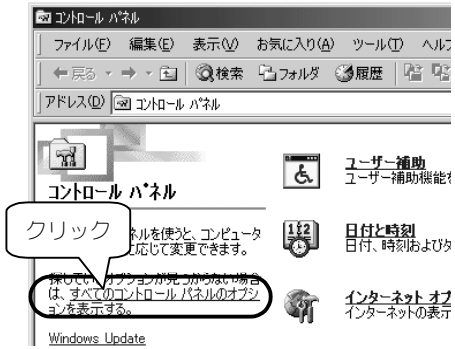
2 **[デバイスマネージャ]タブをクリックします。**

3 **31ページ手順４へ進みます。**

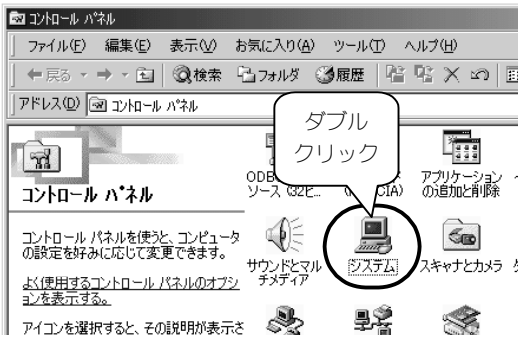
＜方法２＞

1 **[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]をクリックします。**

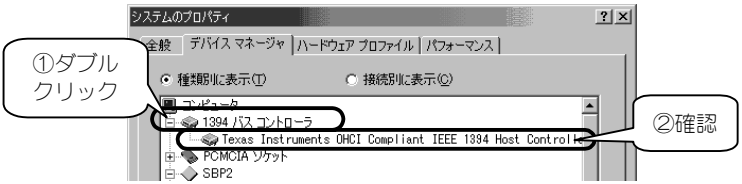
2 **[すべてのコントロールパネルのオプションを表示する]をクリックします。**



3 **[システム]をダブルクリックし、[デバイスマネージャ]タブをクリックします。**



4 [1394 バスコントローラ]をダブルクリックし、[Texas Instruments OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller]が登録（表示）されていることを確認してください。



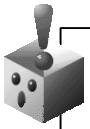
[1394 バスコントローラ]が
見当たらない場合は…

「正常に動作しない場合」の 81 ページをご参照ください。

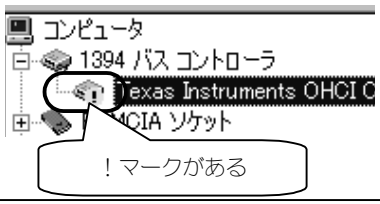
参考

【接続機器への書き込み/書き戻しができない場合】(86ページ)の手順で、上記で登録されているドライバソフト（Texas Instruments OHCI Compliant‥‥）を「サポートソフト」ディスクのドライバに更新した場合は、登録（表示）は、[I-O DATA CB1394 IEEE 1394 CardBus Card]となります。

5 [Texas Instruments OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller]の頭に！マークや×マークがないことも確認してください。



頭に！マークや
×マークがあった場合は…



「正常に動作しない場合」の 82 ページをご参照ください。

インストールが正常ならば

CB1394/DVCをお使いの場合

この後、『VideoStudio』、『COOL 3D』をインストールします。
【ステップ5】(39ページ)、【ステップ6】(40ページ)へお進みください。

CB1394をお使いの場合

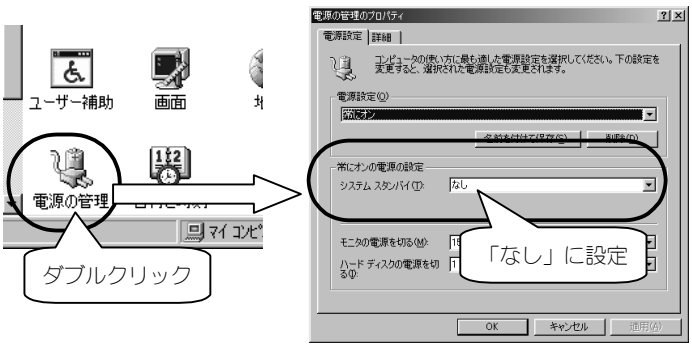
この後、お持ちのストレージ機器を接続します。
【活用する②】(63ページ)へお進みください。

注意

本PCカードは、Windows MeのACPI規格には対応しておりません。
従って、本PCカードを取り付けた状態では以下の①および②にご注意ください。

①スタンバイ機能は無効に設定してください。

1. [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を順にクリックします。
2. [電源の管理]をダブルクリックし、[システムスタンバイ]の設定を[なし]に設定してください。



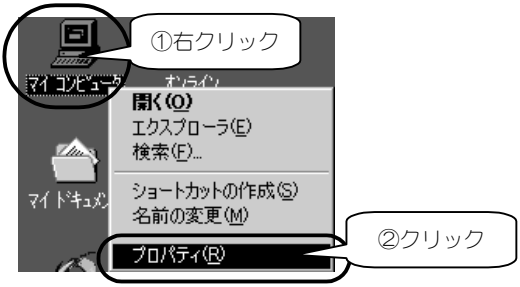
②[スタート]→[Windowsの終了]→[スタンバイ]は実行しないでください。

ACPIとは？

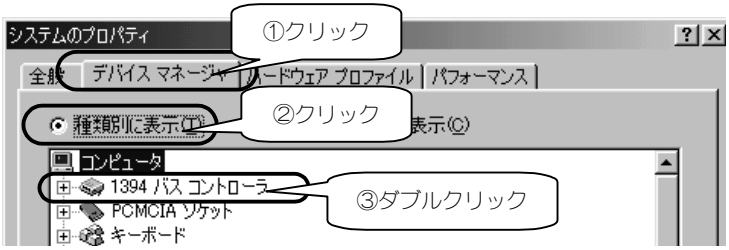
米マイクロソフト社、米インテル社、東芝の3社が提唱しているパソコンの省電力モードなどの電力制御や、パソコンに接続される家庭電化製品の電源の制御などを、OS(オペレーティング・システム)から行うことができる低消費電力機構の規格です。

Windows 98 SEの場合

1 **[マイコンピュータ]を右クリックし、メニュー内の[プロパティ]をクリックします。**



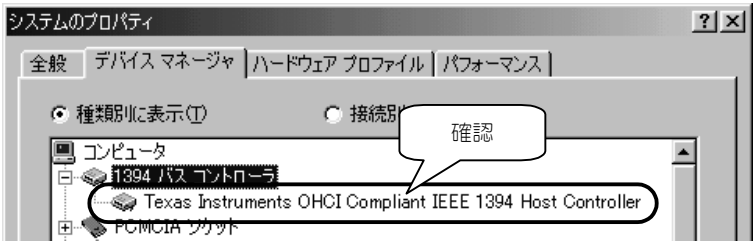
2 **[デバイスマネージャ]タブをクリックし、[種類別に表示]で[1394 バスコントローラ]をダブルクリックします。**



[1394 バスコントローラ]が見当たらない場合は…

「正常に動作しない場合」の 81 ページをご参照ください。

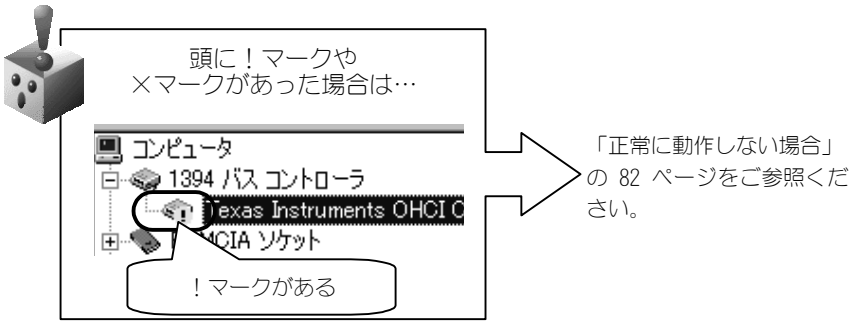
3 [Texas Instruments OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller]が登録（表示）されていることを確認してください。



参考

【接続機器への書き込み/書き戻しができない場合】(86ページ)の手順で、上記で登録されているドライバソフト（Texas Instruments OHCI Compliant‥‥）を「サポートソフト」ディスクのドライバに更新した場合は、登録（表示）は、[I-O DATA CB1394 IEEE 1394 CardBus Card]となります。

4 [Texas Instruments OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller]の頭に！マークや×マークがないことも確認してください。



インストールが正常ならば

CB1394/DVCをお使いの場合

この後、『VideoStudio』、『COOL 3D』をインストールします。
【ステップ5】(39ページ)、【ステップ6】(40ページ)へお進みください。

CB1394をお使いの場合

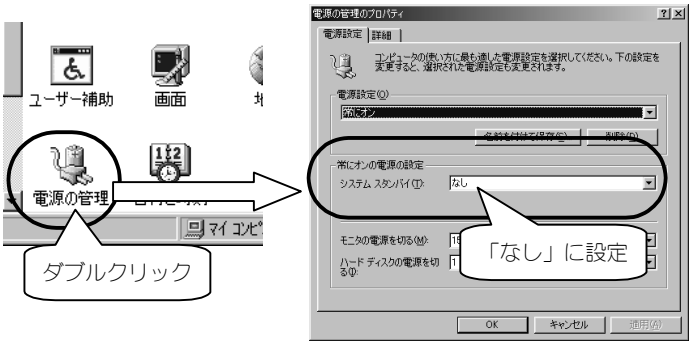
この後、お持ちのストレージ機器を接続します。
【活用する②】(63ページ)へお進みください。

注意

本PCカードは、Windows 98 SEのACPI規格には対応しておりません。
従って、本PCカードを取り付けた状態では以下の①および②にご注意ください。

①スタンバイ機能は無効に設定してください。

1.[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を順にクリックします。
2.[電源の管理]をダブルクリックし、[システムスタンバイ]の設定を[なし]に設定してください。



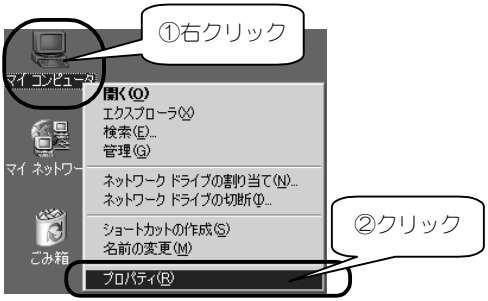
②[スタート]→[Windowsの終了]→[スタンバイ]は実行しないでください。

ACPIとは?

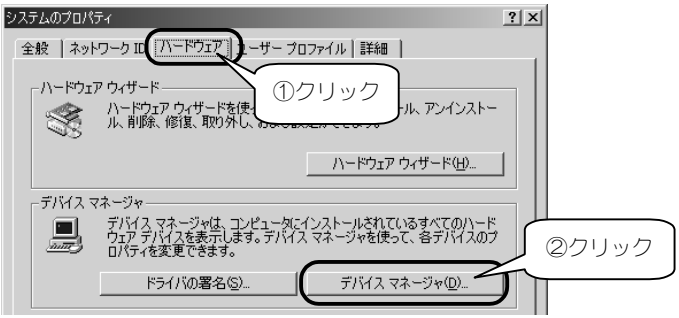
米マイクロソフト社、米インテル社、東芝の3社が提唱しているパソコンの省電力モードなどの電力制御や、パソコンに接続される家庭電化製品の電源の制御などを、OS(オペレーティング・システム)から行うことができる低消費電力機構の規格です。

Windows 2000の場合

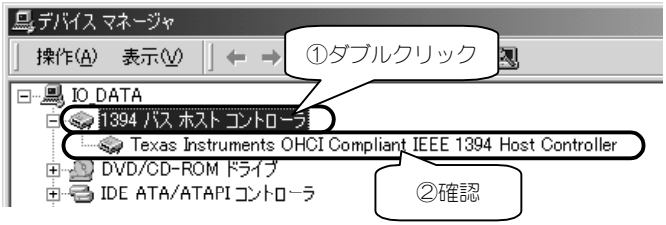
1 **[マイコンピュータ]を右クリックし、メニュー内の[プロパティ]をクリックします。**

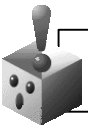


2 **[ハードウェア]タブ、続けて[デバイスマネージャ]をクリックします。**



3 [1394バスホストコントローラ]をダブルクリックし、[Texas Instruments OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller]が登録（表示）されていることを確認してください。





[1394 バスホストコントローラ]が見当たらない場合は…

「正常に動作しない場合」の 81 ページをご参照ください。

参考

【接続機器への書き込み/書き戻しができない場合】(86ページ)の手順で、上記で登録されているドライバソフト（Texas Instruments OHCI Compliant‥‥）を「サポートソフト」ディスクのドライバに更新した場合は、登録（表示）は、[I-O DATA CB1394 IEEE 1394 CardBus Card]となります。

インストールが正常ならば

CB1394/DVCをお使いの場合

この後、『VideoStudio』、『COOL 3D』をインストールします。
【ステップ5】(39ページ)、【ステップ6】(40ページ)へお進みください。

CB1394をお使いの場合

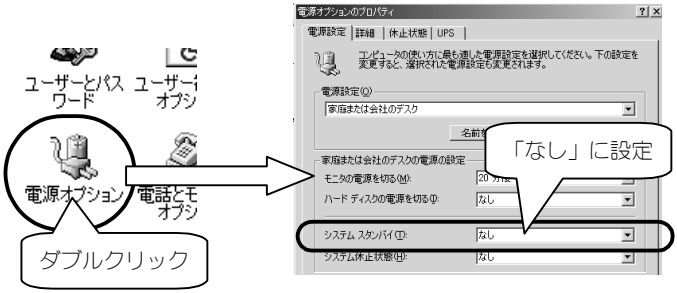
この後、お持ちのストレージ機器を接続します。
【活用する②】(63ページ)へお進みください。

注意

本PCカードは、Windows 2000のACPI規格には対応しておりません。
従って、本PCカードを取り付けた状態では以下の①および②にご注意ください。

① スタンバイ機能は無効に設定してください。

1. [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を順にクリックします。
2. [電源オプション]をダブルクリックし、[電源設定]タブの[システムスタンバイ]の設定を［なし］に設定してください。
（「システムスタンバイ」の設定が表示されない機種もあります。その場合は特に設定はありません。）



②[スタート]→[シャットダウン]→[スタンバイ]は実行しないでください。([スタンバイ]が表示されない機種もあります。)

ACPIとは？

米マイクロソフト社、米インテル社、東芝の3社が提唱しているパソコンの省電力モードなどの電力制御や、パソコンに接続される家庭電化製品の電源の制御などを、OS(オペレーティング･システム)から行うことができる低消費電力機構の規格です。

ステップ5

『VideoStudio』をインストールする（CB1394/DVCのみ）

CB1394/DVCには、DV機器のテープなどのメディアの映像をディスプレイ上に再生したり、編集した映像を録画するためのソフトウェア『Ulead VideoStudio 5 SE』を添付しています。

※『Ulead VideoStudio 5 SE』は、DV機器を含む1394機器を使用する上で必ずしもインストールする必要はありません。

※ CB1394には添付されておりません。

※ OEM版のため、店頭販売品と比べて以下の差があります。

- GIFに対応していません。
- サンプルデータ（画像/オーディオ）が入っていません。
- 取扱説明書はCD-ROM内にPDFデータとして収録されています。

ここでは、『Ulead VideoStudio 5 SE』のインストール方法について説明します。

1 「Ulead VideoStudio 5」CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します。

2 以下のメニュー画面が表示されます。
[Ulead VideoStudio 5.0をインストールする]
をクリックします。

後は画面の指示に従ってください。（詳細は、『Ulead VideoStudio取扱説明書（PDFファイル）』を参照してください。）

※「Ulead VideoStudio 5 SE（OEM版）」の取扱説明書は、CD-ROM 内にPDFファイル（製品版と同等）として収められています。

ステップ6

『COOL 3D』をインストールする（CB1394/DVCのみ）

CB1394/DVCには、表現力のある強力な３Ｄタイトルを作成するための高性能３Ｄタイトルアニメータソフトウェア『Ulead COOL 3D』を添付しています。

※『Ulead COOL 3D』は、DV機器を含む1394機器を使用する上で必ずしもインストールする必要はありません。

※ CB1394には添付されておりません。

ここでは、『Ulead COOL 3D』のインストール方法について説明します。

1 「Ulead COOL 3D」CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します。

2 メニュー画面が表示されます。
[Ulead COOL 3D 3.0をインストール]をクリックします。

後は画面の指示に従ってください。（詳細は、CD-ROM内の取扱説明書データ(PDFファイル)を参照してください。）
インストール後、【活用する①】(49ページ)へお進みください。

補 足

OS上で本PCカードを取り外す方法

Windows Me、Windows 98 SEおよびWindows 2000を使用中でも本PCカードを取り外すことができます。

・Windows 98 SEの場合は次ページを参照してください。
・Windows Me/2000の場合は46ページを参照してください。

注意

・ここでの手順および画面は、本PCカードを取り外す場合の手順について説明しています。
DV機器を接続した後の取り外し手順については62ページを、また、1394対応のストレージ機器を接続した後の取り外し手順については74ページを参照してください。
・本PCカードに1394機器を接続したまま、次ページ以降の手順を行うと、接続している機器の停止も自動的に行われ、機器の操作もできなくなります。
・次ページ以降の終了手順後、再度使用したい場合は、パソコンの電源が入っている状態のままで、本PCカードを挿入して使用できます。
1394機器を接続する際は、本PCカードのみを先に接続しから接続してください。必ず1394機器の電源が入っていることを確認してから接続してください。

Windows 98 SEの場合

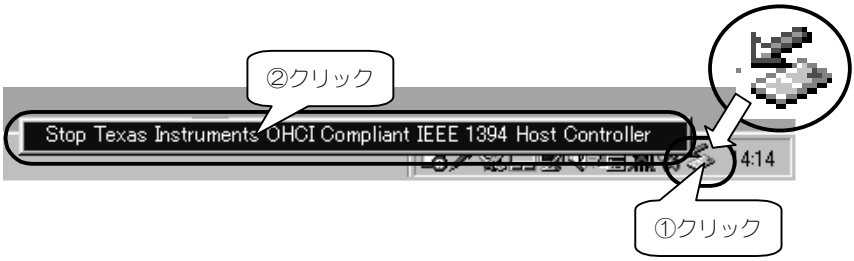
Windows 98 SEを使用中でも本PCカードを取り外すことができます。
ただし取り外す際には、必ず次ページまたは44ページのどちらかの終了手順を行ってください。

注意

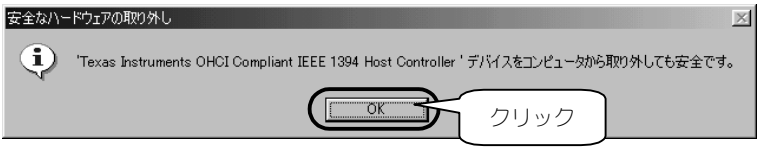
終了手順を行わずに本PCカードをPCカードスロットから取り外すと、予期しない障害が発生する可能性があります。

終了手順ーその１

1　タスクトレイのPCカードアイコンをクリックして、[Stop Texas Instruments OHCI ····]をクリックします。

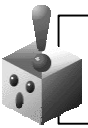


2　[OK] ボタンをクリックします。



「取り外しができません」というようなメッセージが表示された場合は…

「正常に動作しない場合」の 83 ページをご参照ください。



１分以上待っても上記のメッセージが表示されない場合は…

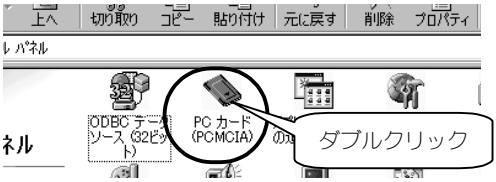
「正常に動作しない場合」の 83 ページをご参照ください。

3　本PCカードをPCカードスロットから取り外します。

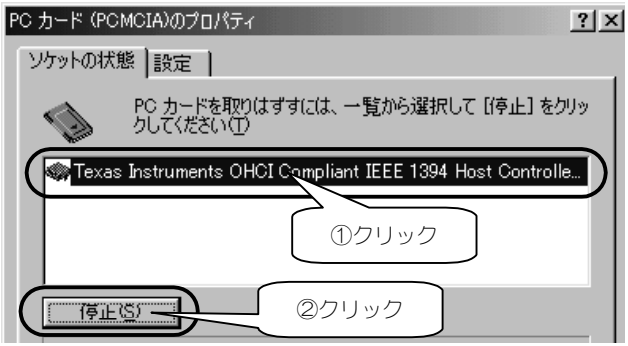
終了手順ーその2

1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を順にクリックします。

2 [PCカード(PCMCIA)] アイコンをダブルクリックします。



3 [Texas Instruments OHCI ····] をクリックし、[停止] ボタンをクリックします。



4 [OK]ボタンをクリックします。

「取り外しができません」というようなメッセージが表示された場合は…

「正常に動作しない場合」の 83 ページをご参照ください。

1分以上待っても上記のメッセージが表示されない場合は…

「正常に動作しない場合」の 83 ページをご参照ください。

5 本PCカードをPCカードスロットから取り外します。

Windows Me/2000の場合

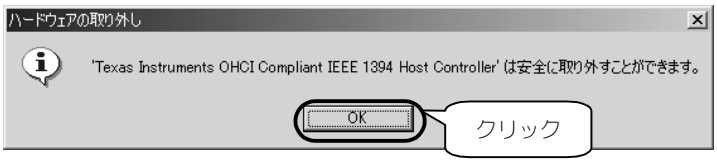
Windows 2000を使用中でも本PCカードを取り外すことができます。
ただし取り外す際には、必ず以下または次ページのどちらかの終了手順を行ってください。

注意
終了手順を行わずに本PCカードをPCカードスロットから取り外すと、予期しない障害が発生する可能性があります。

終了手順ーその1

1　タスクトレイのリムーバブルツールアイコンをクリックして、[Texas Instruments OHCI ‥‥を停止します]をクリックします。

2　[OK] ボタンをクリックします。



「取り外しができません」というようなメッセージが表示された場合は…

「正常に動作しない場合」の 83 ページをご参照ください。

1分以上待っても上記のメッセージが表示されない場合は…

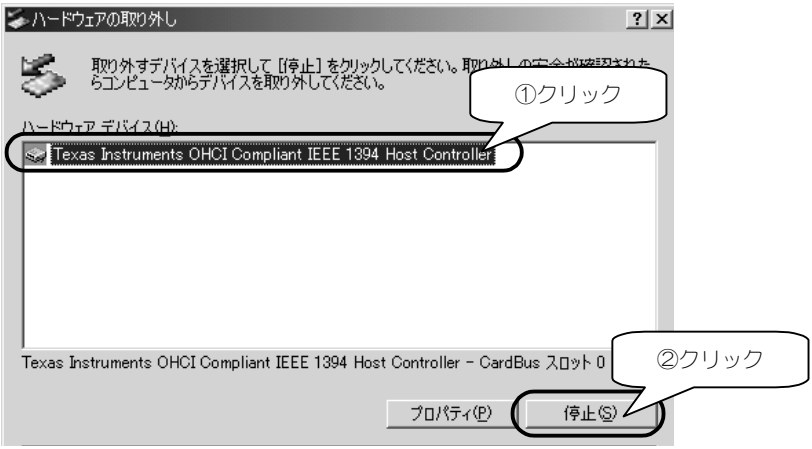
「正常に動作しない場合」の 83 ページをご参照ください。

3　本PCカードをPCカードスロットから取り外します。

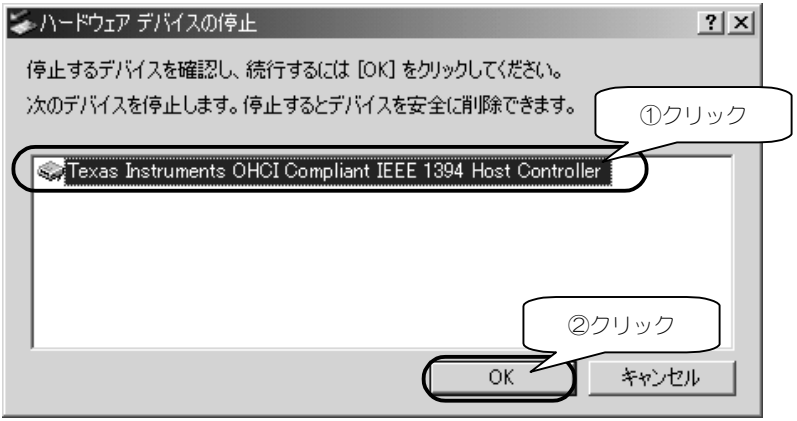
終了手順ーその2

1　タスクトレイのリムーバブルツールアイコンをダブルクリックします。

2　[Texas Instruments OHCI ····] をクリックし、[停止] ボタンをクリックします。



3 [Texas Instruments OHCI ····]をクリックし、[OK]ボタンをクリックします。



4 [OK]ボタンをクリックします。

「取り外しができません」というようなメッセージが表示された場合は…

「正常に動作しない場合」の 83 ページをご参照ください。

1分以上待っても上記のメッセージが表示されない場合は…

「正常に動作しない場合」の 83 ページをご参照ください。

5 本PCカードをPCカードスロットから取り外します。

活用する①
(DV機器を接続する場合)

ここではPCカードにDV機器を接続して使用する際の設定について説明します。

ステップ1

▼

基本操作について

DV機器の接続および取り外しについての基本操作について説明します。 (50ページ)

ステップ2

▼

内蔵ハードディスクのDMA設定を確認する (Windows 98 SEのみ)

Windows 98 SEでの内蔵ハードディスクのDMA設定について確認します。 (51ページ)

ステップ3

▼

DV機器を接続する

DV機器を接続します。 (54ページ)

ステップ4

▼

DV機器が正しく接続されているかを確認する

DV機器が正しく接続されているかをWindows上から確認します。 (57ページ)

ステップ5

▼

DV機器をWindows上から操作する

DV機器をWindows上から操作します。 (61ページ)

ステップ6

DV機器を取り外す場合

DV機器を取り外す場合について説明します。 (62ページ)

ステップ1

基本操作について

ここでは、本PCカードにDV機器を接続する場合、取り外す場合の基本的な操作について説明します。

DV機器を本PCカードに接続する場合・取り外す場合

DV機器は、1394対応のケーブルで本PCカードに接続します。
パソコンの電源が入っている状態でも接続できます。
※コネクタの向きなどを確認した上で接続してください。

注意

DV機器に関する注意事項

DV機器を含む1394機器のつなげ方、取り外し方、および使い方については、各社の1394機器の取扱説明書を参照してください。誤った操作方法は機器およびディスクの破損、もしくはデータの消失、またはWindowsの正常動作の妨げとなりますのでご注意ください。

・1394機器は電源をONにしてから、本製品につなげてください。
　1394機器の電源がOFFの状態で本製品につなげると、
　→1394機器が認識されないなどの現象が発生し、正常動作いたしません。
・1394機器の動作中に、ケーブルを取り外したり、電源を切ることはおやめください。
・複数の1394機器をつないだ場合、他の機器が動作している時に動作していない機器のケーブルを取り外したり、電源を切ることはおやめください。また、1394機器の動作中に、他の1394機器を接続することも正常動作の妨げになる場合があります

※1394機器が正常に動作しない場合や認識されない場合は、いったんケーブルを抜いてから1394機器の電源の入れ直しを行い、1394機器の電源がONの状態で再度接続してください。また、接続する1394機器によっては上記以外の制限事項がありますので、必ず各社1394機器の取扱説明書も参照してください。

ステップ２

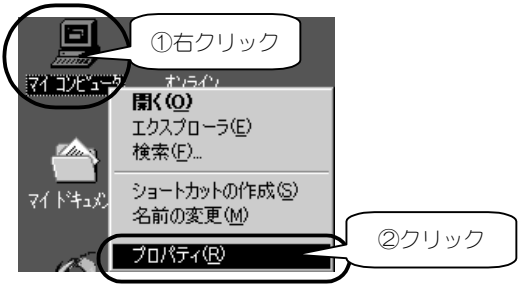
内蔵ハードディスクのDMA設定を確認する（Windows 98 SEのみ）

Windows 98 SEをお使いの場合で、内蔵ハードディスクに動画（AVI）ファイルを取り込む場合は、ハードディスクにDMAの設定がされていないとコマ落ちが発生する場合があります。
以下の手順にて、DMAの設定がされているか確認・設定してください。
※設定できない場合もあります。

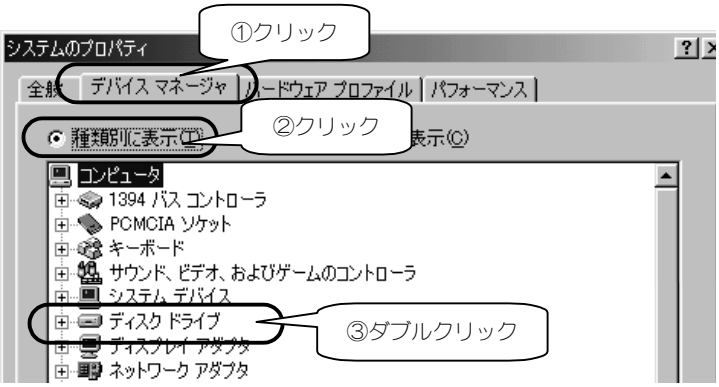
注意

- DMAの設定が必要なのは、パソコン本体標準の内蔵ハードディスクの場合のみです。PCカード経由、1394経由、USB経由のハードディスク等には、設定の必要はありません。
- 内蔵ハードディスクの性能によっては、動画キャプチャ書き戻し時にコマ落ち・音飛びが発生する場合があります。
  できる限り、高速なハードディスクをご利用になることをおすすめします。（7ページ参照）
- Windows Me、Windows 2000では、DMAを使用可能な場合は、既に設定されていますので、設定の必要はありません。

1 [マイコンピュータ]を右クリックし、メニュー内の[プロパティ]をクリックします。

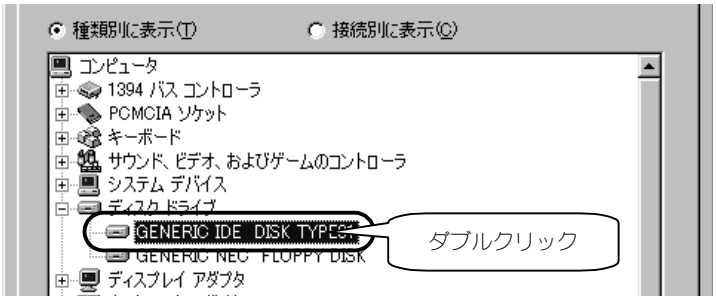


2 [デバイスマネージャ]タブをクリックし、[種類別に表示]で[ディスクドライブ]をダブルクリックします。



3 [GENERIC IDE DISK ····]をダブルクリックします。

複数の[GENERIC IDE DISK ····]が表示されている場合は、上から順にダブルクリックしてください。



4 **[設定]タブをクリックします。**
[現在のドライブ文字割り当て]でファイルを保存するドライブ名であることを確認します。
確認後、[オプション]の[DMA]のチェックが入っていることを確認してください。
チェックされていない場合はチェックし、[OK]ボタンをクリックしてください。

注意

パソコンの取扱説明書に以下のような記述がある場合は、DMAはチェックしないでください。（その場合、コマ落ちが発生する場合があります。）

- 「ハードディスクはPIOモードで転送する」
- 「ハードディスクでDMA転送をしない」

ステップ3

ＤＶ機器を接続する

本PCカードにDV機器を接続してみましょう。

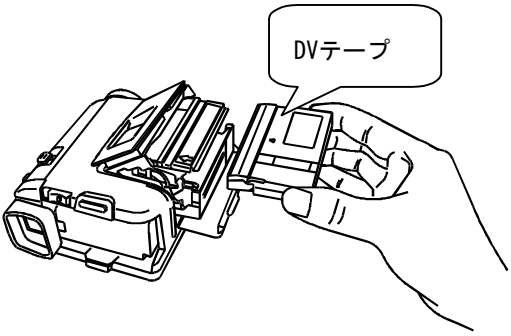
1 **DV機器の電源が入っていることを確認してください。**

※DV機器が「ビデオ(再生)モード」になっていることも確認してください。

注意

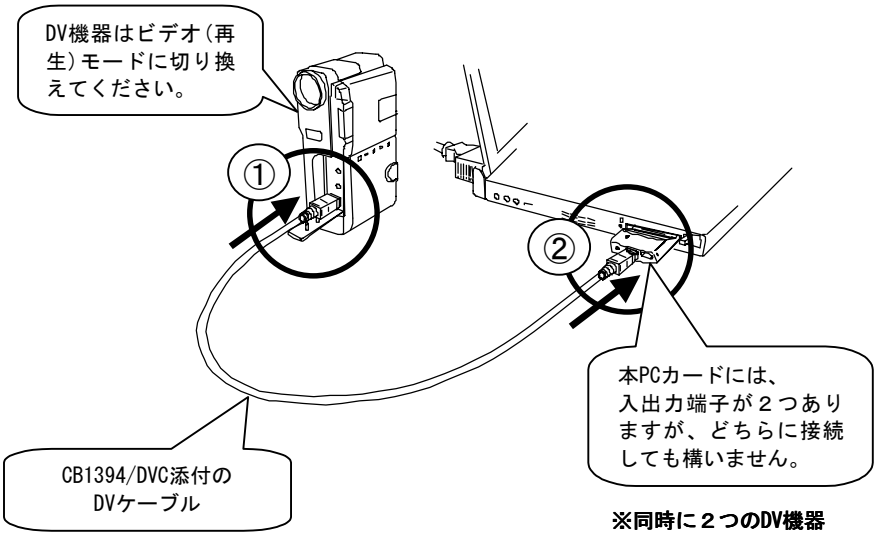
DV機器の操作方法については、各DV機器メーカーへお問い合わせください。

2 **DV機器に録画済みのDVテープなどのメディアを挿入してください。**



3　DV機器にある4ピンタイプのDV(i.LINK)端子と本PCカードを、付属のDVケーブル(6ピン⇔4ピン：CB1394/DVCのみ付属)で接続します。

※6ピンタイプのDV機器と接続する場合は、機器に付属または市販の6ピン⇔6ピンのDVケーブルが必要です。



接続時のポイント

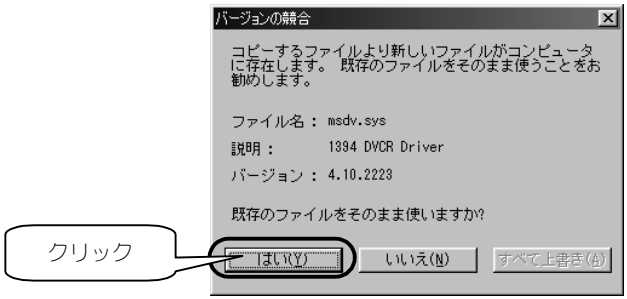
・DV 機器の電源を入れてから、本 PC カードと接続します。
（パソコンの電源が入っている状態で接続できます。）

・本 PC カードは、パソコンの電源が入っている状態でも取り付けできます。ただし、本 PC カードを PC カードスロットへ挿入する際には、DV 機器を接続した状態で挿入しないでください。本 PC カードを PC カードスロットに挿入後、Windows が正常に起動している状態（本 PC カードが正常に認識されている状態）で DV 機器を接続するようにしてください。

4 接続すると、パソコン(Windows)が、接続したDV機器を自動認識します。

注意

Windows 98 SEで以下の画面が表示された場合は、［はい］をクリックしてください。



ステップ4

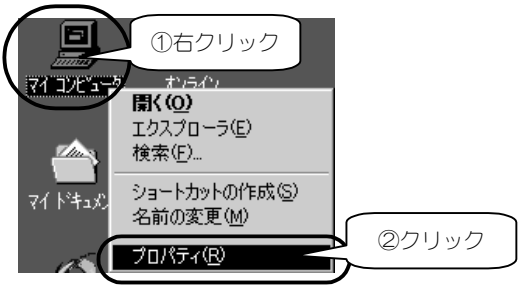
ＤＶ機器が正しく接続されているかを確認する

ここでは、DV機器が正しく接続されているかをWindows上から確認します。

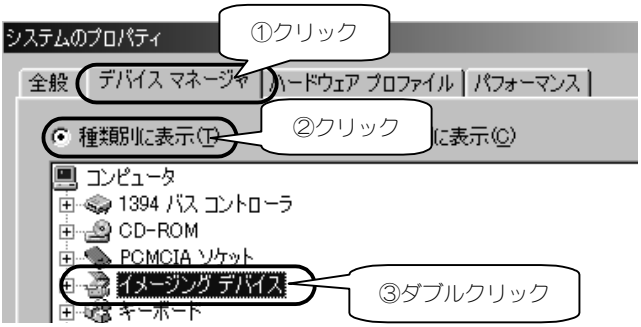
・Windows Me/98 SEの場合は以下を参照してください。
・Windows 2000の場合は次ページを参照してください。

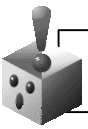
Windows Me/98 SEの場合

1 **[マイコンピュータ]を右クリックし、メニュー内の[プロパティ]をクリックします。**



2 **[デバイスマネージャ]タブをクリックし、[種類別に表示]で[イメージングデバイス]をダブルクリックします。**



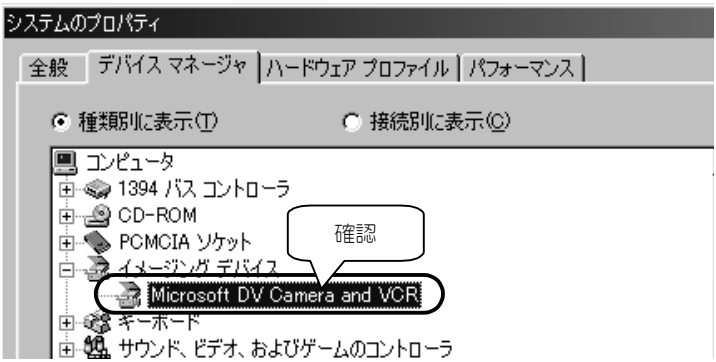


[イメージングデバイス]が見当たらない場合は…

「正常に動作しない場合」の 81 ページをご参照ください。

3 **[Microsoft DV Camera and VCR]が登録（表示）されていれば、DV機器が正常に接続されています。**

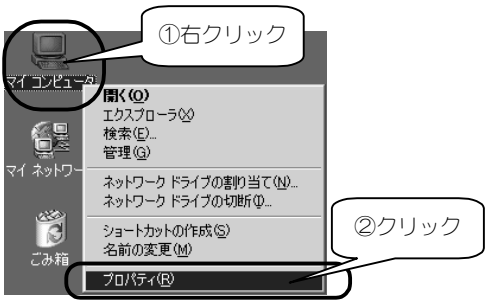
Windows Meの場合は、接続したDV機器のメーカー名、および製品名が登録（表示）されます。



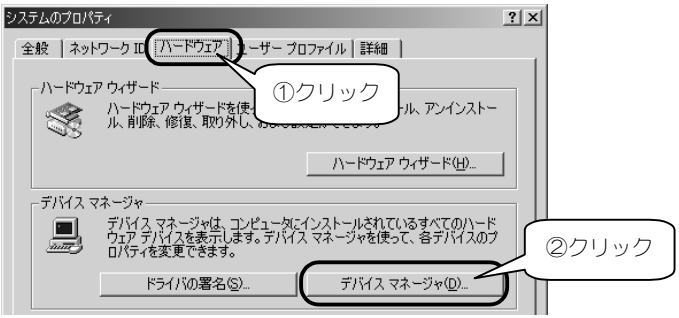
以上で、Windows Me/98 SEでのDV機器の接続の確認は終了です。
『VideoStudio』等のアプリケーションソフトにより、DV機器を操作してください。

Windows 2000の場合

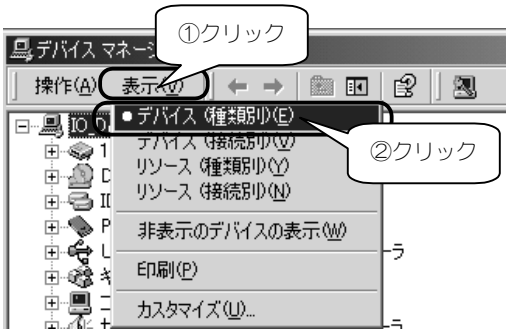
1 **[マイコンピュータ]を右クリックし、メニュー内の[プロパティ]をクリックします。**



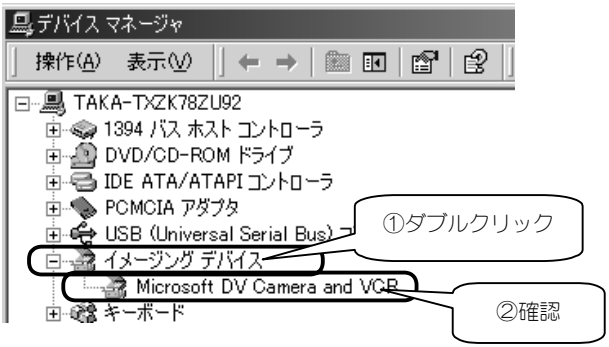
2 [ハードウェア]タブ、続けて[デバイスマネージャ]をクリックします。

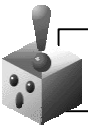


3 [表示]メニュー内の[デバイス（種類別）]をクリックします。



4 **[イメージングデバイス]をダブルクリックし、[Microsoft DV Camera and VCR]が登録（表示）されていれば、DV機器が正常に接続されています。**





[イメージングデバイス]が見当たらない場合は…

「正常に動作しない場合」の 81 ページをご参照ください。

5 **[デバイスマネージャ]を閉じます。**

以上で、Windows 2000でのDV機器の接続の確認は終了です。
DV機器をパソコン上から操作する場合は、次ページ【ステップ5】を参照してください。

ステップ5

ＤＶ機器を Windows上から操作する

それでは、DV機器をWindows上から操作してみましょう。
Windows上からの操作は、添付の『VideoStudio』等のアプリケーションソフトで行います。

※『VideoStudio』をお使いの場合には、使用方法その他については、別冊『VideoStudio取扱説明書』を参照してください。

※『COOL 3D』をお使いの場合には、使用方法その他については、ヘルプやCD-ROM内の取扱説明書（PDFファイル）を参照してください。

注意

・DV機器の操作中は、ケーブルの抜き差しを行わないでください。
・VideoStudioを使用する際は、ディスプレイの省電力設定・スクリーンセーバー、OSの省電力設定を使用しないでください。（設定についてはパソコンメーカーにご確認ください。）

サービス品に関するお問い合わせ

添付のサービス品『VideoStudio』および『COOL 3D SE』に関しては、ユーリード社まで

●お問い合わせ先

ユーリードシステムズ株式会社ユーザーサポート係

電話番号　03-5491-5662
FAX番号　03-5491-5663
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　http://www.ulead.co.jp
E-mail　support@ulead.co.jp

受付時間　平日 10:00～12:00　13:00～17:00

ステップ6　ＤＶ機器を取り外す場合

DV機器を取り外す場合は、以下の手順で取り外してください。

1　本PCカードに接続しているケーブルから取り外します。

注意

・パソコンの電源が入っている状態でも取り外せます。
・取り外す際には、必ずケーブルのコネクタを持って取り外してください。ケーブルを持って取り外さないでください。
・DV機器が動作していないこと（再生等を行っていないこと）を確認した上で取り外してください。
・DV機器を操作するアプリケーション（添付のVideoStudio等）を終了してから取り外してください。
・DV機器を含む複数の1394機器を接続している場合は、他の機器が動作している時に、動作していない機器のケーブルを取り外したり、電源を切ることはおやめください。

参考

DV機器の電源を切ってから取り外すこともできます。

2　ケーブル取り外し後、DV機器の電源を切ってください。

活用する②
（ストレージ機器［ハードディスクやMOドライブ等］を接続する場合）

ここではPCカードにハードディスクやMOドライブなどのストレージ機器を接続して使用する際の設定について説明します。

ステップ1

▼

基本操作について

ストレージ機器（ハードディスクやMOドライブなど）の接続および取り外しについての基本操作について説明します。 (64ページ)

ステップ2

▼

ストレージ機器を接続する

ストレージ機器を接続します。 (65ページ)

ステップ3

▼

ストレージ機器が正しく接続されているかを確認する

ストレージ機器が正しく接続されているかをWindows上から確認します。 (67ページ)

ステップ4

ストレージ機器の正しい取り外し手順

ストレージ機器の取り外しについて説明します。 (74ページ)

ステップ1

基本操作について

ここでは、本PCカードに1394対応のストレージ機器（ハードディスクやMOドライブ等）を接続する場合、取り外す場合の基本的な操作について説明します。

機器を本PCカードに接続する場合・取り外す場合

ストレージ機器は、1394対応のケーブルで本PCカードに接続します。
パソコンの電源を入れた状態でも接続できます。
※コネクタの向きなどを確認した上で接続してください。
Windows使用中に取り外す場合は、【ステップ４】(74ページ)の手順で取り外してください。

注意

1394対応のストレージ機器に関する注意事項

ストレージ機器を含む1394機器のつなげ方、取り外し方、および使い方については、各社の1394機器の取扱説明書を参照してください。誤った操作方法は機器およびディスクの破損、もしくはデータの消失、またはWindowsの正常動作の妨げとなりますのでご注意ください。

・1394機器は電源をONにしてから、本製品につなげてください。
1394機器の電源がOFFの状態で本製品につなげると、
→1394機器が認識されないなどの現象が発生し、正常動作いたしません。
・1394機器の動作中に、ケーブルを取り外したり、電源を切ることはおやめください。
・複数の1394機器をつないだ場合、他の機器が動作している時に動作していない機器のケーブルを取り外したり、電源を切ることはおやめください。また、1394機器の動作中に、他の1394機器を接続することも正常動作の妨げになる場合があります

※1394機器が正常に動作しない場合や認識されない場合は、いったんケーブルを抜いてから1394機器の電源の入れ直しを行い、1394機器の電源がONの状態で再度接続してください。また、接続する1394機器によっては上記以外の制限事項がありますので、必ず各社1394機器の取扱説明書も参照してください。

ステップ２

ストレージ機器を接続する

本PCカードに1394対応のハードディスクやMOドライブ等のストレージ機器を接続してみましょう。

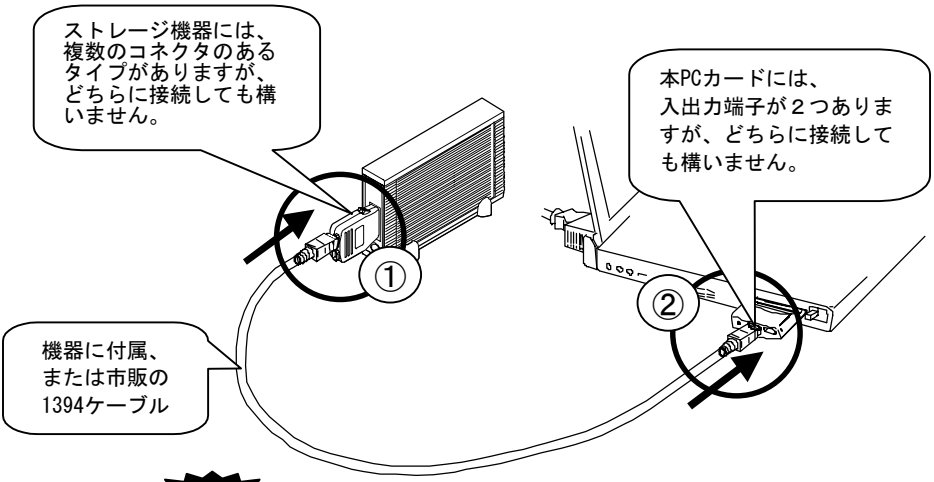
1 お使いのストレージ機器の電源を入れてください。

注意

ストレージ機器の操作については、各機器メーカーへお問い合わせください。

2 機器にある1394(i.LINK)端子と本PCカードを、1394ケーブルで接続します。

※ケーブルは機器付属のもの、あるいは市販のケーブル（6ピン⇔6ピン）をご使用ください。
ストレージ機器との接続の詳細は、ストレージ機器の取扱説明書を参照してください。



注意

別売オプションのACアダプタ（1394-ACADP）を使用して、本PCカードから機器に電源を供給する場合、機器すべての消費電力が９Wを超えないようにしてください。超える場合は、機器に直接ACアダプタ等で給電するようにしてください。

接続時のポイント

・ストレージ機器の電源を入れてから、本 PC カードと接続します。
（パソコンの電源が入っている状態で接続できます。）
・本 PC カードは、パソコンの電源が入っている状態でも取り付けできます。ただし、本 PC カードを PC カードスロットへ挿入する際には、ストレージ機器を接続した状態で挿入しないでください。本 PC カードを PC カードスロットに挿入後、Windows が正常に起動している状態（本 PC カードが正常に認識されている状態）でストレージ機器を接続するようにしてください。

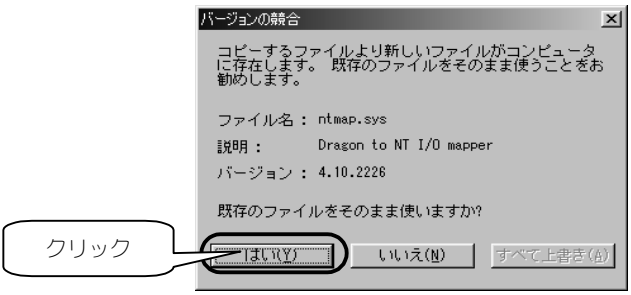
3 接続すると、パソコン(Windows)が、接続したストレージ機器を自動認識します。

注意

・本PCカードに２台以上の機器を接続する場合には、注意事項があります。詳細は、【本PCカードに２台以上の機器を接続する場合】(101ページ)を参照してください。
・本PCカードに接続したストレージ機器からパソコンを起動させることはできません。

注意

Windows 98 SEで[バージョンの競合]画面が表示された場合は、すべて[はい] ボタンをクリックしてください。



ステップ3

ストレージ機器が正しく接続されているかを確認する

ここでは、ストレージ機器が正しく接続されているかをWindows上から確認します。

・Windows Me/98 SEの場合は以下を参照してください。
・Windows 2000の場合は71ページを参照してください。

注意

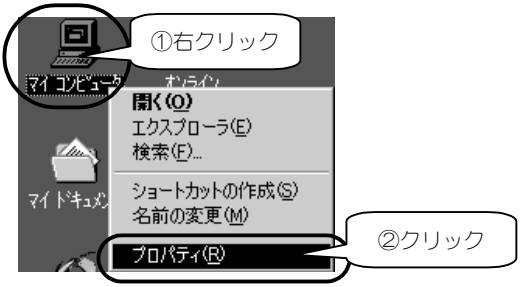
- 確認は以下の手順のように「デバイスマネージャ」画面で確認できますが、表示は接続したストレージ機器により異なります。詳細は、ストレージ機器の取扱説明書を参照するか、またはストレージ機器メーカーにお問い合わせください。
- 本取扱説明書には、ストレージ機器のフォーマット方法は記載されておりません。フォーマットが必要な機器については、ストレージ機器の取扱説明書を参照するか、またはストレージ機器メーカーにお問い合わせください。

Windows Me/98 SEの場合

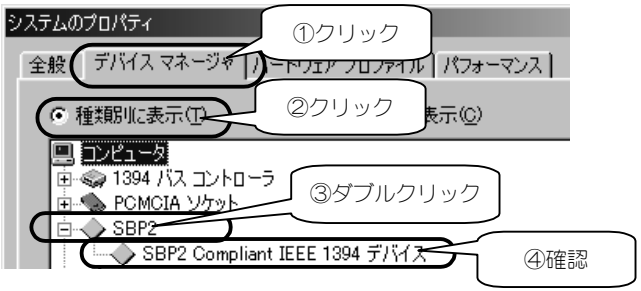
接続の確認は「デバイスマネージャ」画面で行いますが、表示は接続したストレージ機器により異なります。
詳細は各ストレージ機器の取扱説明書を参照してください。

ここでは、例としてハードディスク、MOドライブを接続した場合を説明します。

1 [マイコンピュータ]を右クリックし、メニュー内の[プロパティ]をクリックします。

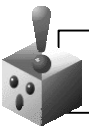


2 [デバイスマネージャ]タブをクリックし、[種類別に表示]で[SBP2]をダブルクリックし、[SBP2 Compliant IEEE 1394 デバイス]が表示されているかを確認します。



[SBP2]が見当たらない場合は…

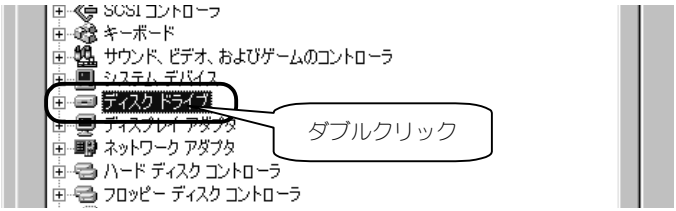
「正常に動作しない場合」の 82 ページをご参照ください。



[SBP2 Compliant IEEE 1394 デバイス]が見当たらない場合は…

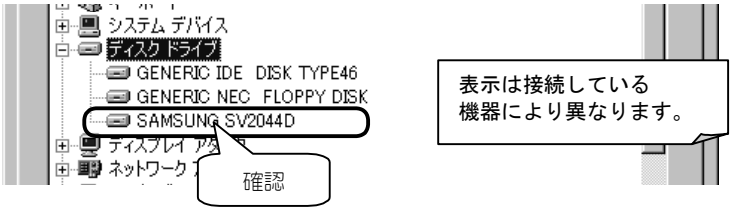
「正常に動作しない場合」の 82 ページをご参照ください。

3 [ディスクドライブ]をダブルクリックします。



4 接続したストレージ機器が表示されているかを確認します。表示されていれば、正常に認識されています。

※表示は接続したストレージ機器により異なります。詳細については、ストレージ機器の取扱説明書を参照するか、またはストレージ機器メーカーにご確認ください。



接続している機器がわからない場合は・・・

以下の手順で確認することができます。

1. **【補足 OS上で本PCカードを取り外す方法】(41ページ)を参照して、一旦本PCカードを取り外します。**
2. **取り外し後、前ページの手順で再度[ディスクドライブ]の表示を確認します。**

3. **本PCカードを取り付けます。**
4. **接続する機器の電源が入っていることを確認後、本PCカードに接続します。**
5. **再度、[ディスクドライブ]の表示を確認します。**
   追加されているドライブ（の表示）が、本PCカードに接続した機器です。

機器の表示がない場合は…

「正常に動作しない場合」の 82 ページをご参照ください。

5 **[記憶装置]をダブルクリックし、その下に接続した機器が表示されていることを確認します。**

6 **[OK]ボタンをクリックします。**

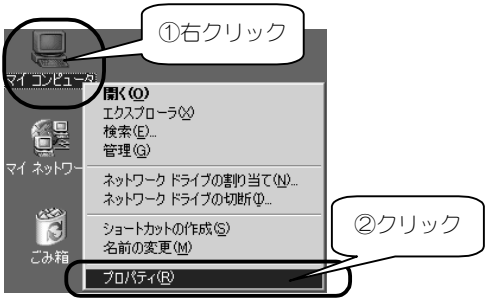
以上で、Windows Me/98 SEでのストレージ機器の接続の確認は終了です。

Windows 2000の場合

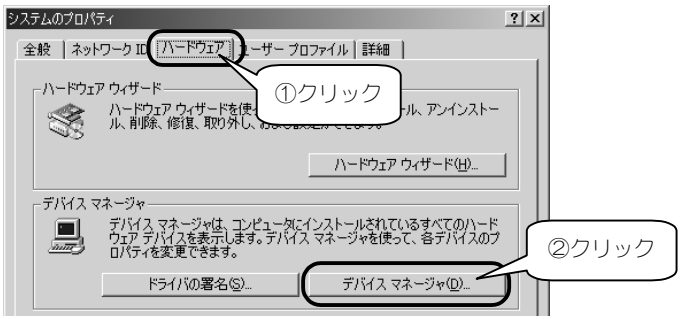
接続の確認は「デバイスマネージャ」画面で行いますが、表示は接続したストレージ機器により異なります。
詳細は各ストレージ機器の取扱説明書を参照してください。

ここでは、例としてハードディスク、MOドライブを接続した場合を説明します。

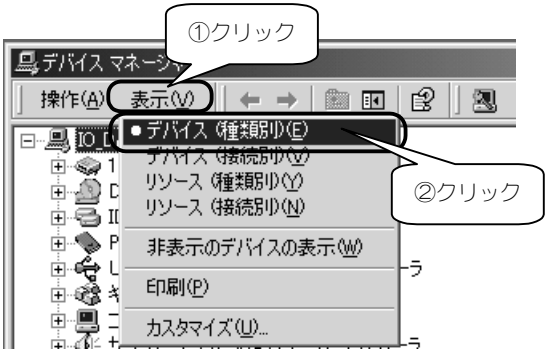
1 [マイコンピュータ]を右クリックし、メニュー内の[プロパティ]をクリックします。



2 [ハードウェア]タブ、続けて[デバイスマネージャ]をクリックします。

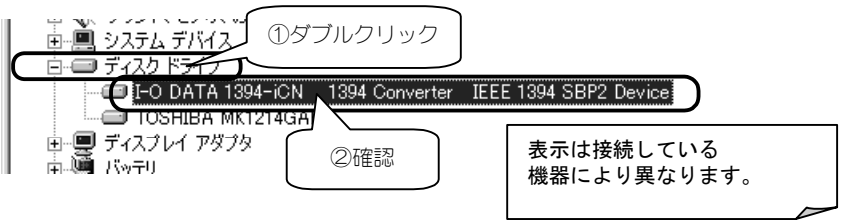


3 [表示]メニュー内の[デバイス（種類別）]をクリックします。



4 [ディスクドライブ]をダブルクリックし、その下に接続した機器が表示されていることを確認します。

※表示は接続したストレージ機器により異なります。詳細については、ストレージ機器の取扱説明書を参照するか、またはストレージ機器メーカーにご確認ください。

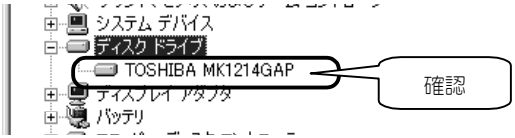


接続している機器がわからない場合は・・・

以下の手順で確認することができます。

1 **【補足 OS上で本PCカードを取り外す方法】(41ページ)を参照して、一旦本PCカードを取り外します。**

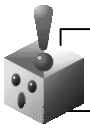
2 **取り外し後、前ページの手順で再度「ディスクドライブ」の表示を確認します。**



3 **本PCカードを取り付けます。**

4 **接続する機器の電源が入っていることを確認後、本PCカードに接続します。**

5 **再度、[ディスクドライブ]の表示を確認します。**
追加されているドライブ（の表示）が、本PCカードに接続した機器です。



機器の表示がない場合は…

「正常に動作しない場合」の 82 ページをご参照ください。

5 [デバイスマネージャ]を閉じます。

以上で、Windows 2000でのストレージ機器の接続の確認は終了です。

ステップ４

ストレージ機器の正しい取り外し手順

ストレージ機器は、以下または次ページの手順にしたがって、取り外すことができます。

取り外し手順ーその１

本PCカードを取り外した後に、ストレージ機器を取り外す手順です。

1 **【補足 OS上で本PCカードを取り外す方法】(41ページ)を参照して、本PCカードを取り外します。**

注意

・パソコンの電源が入っている状態でも取り外せます。
・取り外す際には、必ずケーブルのコネクタを持って取り外してください。ケーブルを引っ張って取り外さないでください。
・ストレージ機器が動作していないこと（読み込み・書き込み等を行っていないこと）を確認した上で取り外してください。
・ストレージ機器を操作するアプリケーションを終了してから取り外してください。
・ストレージ機器の後にさらにストレージ機器をデイジーチェーン接続して使用している場合は、後のストレージ機器を先に取り外してください。
・ストレージ機器を含む複数の1394機器をデイジーチェーン接続した場合は、他の機器が動作している時に、動作していない機器のケーブルを取り外したり、電源を切ることはおやめください。

2 **本PCカードに接続しているケーブルを取り外します。**

3 **ケーブル取り外し後、ストレージ機器の電源を切ってください。**

取り外し手順ーその2

ストレージ機器のみを取り外す手順です。
この場合、次ページの【ストレージ機器の取り外し準備】の手順（ストレージの停止）を行った後で、本PCカードに接続しているケーブルを取り外してください。ケーブル取り外し後、ストレージ機器の電源を切ってください。

1 次ページを参照して、ストレージ機器の取り外し準備手順（ストレージの停止）を行います。

注意

- パソコンの電源が入っている状態でも取り外せます。
- 取り外す際には、必ずケーブルのコネクタを持って取り外してください。ケーブルを引っ張って取り外さないでください。
- ストレージ機器が動作していないこと（読み込み・書き込み等を行っていないこと）を確認した上で取り外してください。
- ストレージ機器を操作するアプリケーションを終了してから取り外してください。
- ストレージ機器の後にさらにストレージ機器をデイジーチェーン接続して使用している場合は、後のストレージ機器を先に取り外してください。
- ストレージ機器を含む複数の1394機器をデイジーチェーン接続した場合は、他の機器が動作している時に、動作していない機器のケーブルを取り外したり、電源を切ることはおやめください。

2 本PCカードに接続しているケーブルを取り外します。

3 ケーブル取り外し後、ストレージ機器の電源を切ってください。

ストレージ機器の取り外し準備(ストレージ機器の停止)

1 **ストレージ機器が動作していないことを確認します。**

2 **タスクトレイのアイコンをクリックします。**

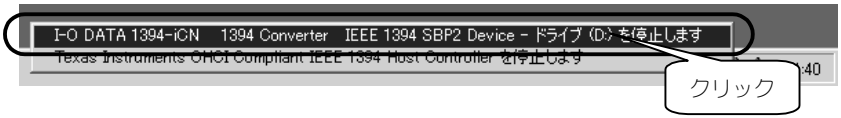
3 **以下のように表示される項目をクリックします。**

Windows 98 SEの場合、［Stop 1394/USB xxxxxxx］と表示されます。
Windows Me/2000の場合、［xxxxxxx を停止します］と表示されます。

※'xxxxxxx'の箇所は、お使いのストレージ機器により異なります。

(Windows 98 SE での表示例)

(Windows Me/2000 での表示例)



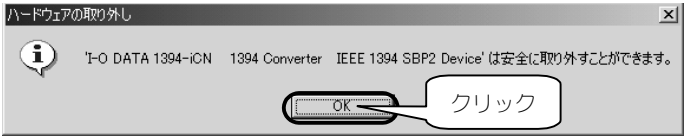
注意

上記画面での［Stop Texas Instruments OHCI ……］(Windows 98 SEの場合)および［Texas Instruments OHCI ……］(Windows 2000の場合)をクリックすると、本PCカードと接続しているストレージ機器の動作をすべて停止します。

4 [OK]ボタンをクリックします。

（Windows 98 SE での表示例）

（Windows 2000 での表示例）



「取り外しができません」と
いうようなメッセージが
表示された場合は…

「正常に動作しない場合」
の 83 ページをご参照くだ
さい。

1 分以上待っても
上記のメッセージが
表示されない場合は…

「正常に動作しない場合」
の 83 ページをご参照くだ
さい。

以上で、ストレージ機器の停止の手順は終了です。

MEMO

ふろく

正常に動作しない場合

ドライバソフトのインストールがうまくできなかった場合や、本PCカードを使用中に、異常があったときにご覧ください。
(80ページ)

接続機器への書き込み/書き戻しができない場合

ストレージ機器への書き込み、DV機器への書き戻しができない場合は、添付のサポートソフトをお試しください。ここでは、その手順について説明します。
(86ページ)

本PCカードに２台以上の機器を接続する場合

本PCカードに２台以上の機器を接続する場合について説明します。
(101ページ)

用語解説

本PCカードに関連する用語について説明します。
(105ページ)

仕様

本PCカードの仕様の一覧です。
(106ページ)

正常に動作しない場合(もくじ)

本PCカードを使用していて異常があった場合にご覧ください。

状態	参照ﾍﾟｰｼﾞ
インストール画面が表示されない	81ページ
・[1394バスコントローラ]の表示がない (Windows Me/98 SEの場合) ・[1394バスホストコントローラ]の表示がない (Windows 2000の場合)	
[イメージングデバイス]の表示がない	
[SBP2]の表示がない (Windows 98 SEの場合のみ)	82ページ
[SBP2 Compliant IEEE 1394 デバイス]の表示がない (Windows 98 SEの場合のみ)	
・[Texas Instruments OHCI Compliant……]の頭に！マークや×マークがある ・[I-O DATA CB1394 IEEE 1394 CardBus Card]の頭に！マークや[×]マークがある	
接続したストレージ機器が[デバイスマネージャ]の[ディスクドライブ]に表示されない	
・本PCカードやストレージ機器の取り外しの際に、「取り外しができません」と表示される ・本PCカードやストレージ機器の取り外しの際に、１分以上待っても、取り外し許可のメッセージが表示されない	83ページ
Windowsを終了後、「Windowsを終了しています」の表示のまま止まってしまう (Windows Me/98 SEの場合のみ)	

正常に動作しない場合(内容)

インストール画面が表示されない

原因　インストールが終了している

対処　本PCカードのインストールが正常に終了すると、次回からインストール画面は表示されません。

原因　本PCカードがPCカードスロットに正しく取り付けられていない

対処 1　確実に取り付けられていることを再度ご確認ください。

対処 2　本PCカードを別のPCカードスロットに取り付け直してお試しください。

・[1394 バスコントローラ]の表示がない　(Windows Me/98 SE の場合)
・[1394 バスホストコントローラ]の表示がない　(Windows 2000 の場合)

原因　単に表示されていないだけの場合があります

対処　パソコンを再起動して、もう一度確認してみてください。

原因　本PCカードがPCカードスロットに正しく取り付けられていない

対処 1　確実に取り付けられていることを再度ご確認ください。

対処 2　本PCカードを別のPCカードスロットに取り付け直してお試しください。

[イメージングデバイス]の表示がない

原因　Windows 98をお使いの場合で、OSがWindows 98 SEではない

対処　6ページの確認方法でOSがWindows 98 SEかをご確認ください。

原因　ケーブルが正常に挿入されていない

対処　DVケーブルを一度抜き挿ししてみてください。

原因　DV機器が動作していない

対処　DV機器の電源が入っているか確認してください。

原因　本PCカードが正しく動作していない

対処　本PCカードを別のPCカードスロットに挿入しなおしてみてください。

[SBP2]の表示がない　(Windows 98 SE の場合のみ)

原因　ケーブルが正常に挿入されていない

対処　1394ケーブルを一度抜き差ししてみてください。

原因　ストレージ機器が動作していない

対処　ストレージ機器の電源が入っているか確認してください。

原因　本PCカードが正しく動作していない

対処　本PCカードを別のPCカードスロットに挿入しなおしてみてください。

[SBP2 Compliant IEEE 1394 デバイス]の表示がない (Windows 98 SE の場合のみ)

原因　Windows 98 SEのアップデートが行われていない

対処　【Windows 98 SE自体を更にアップデートする】(16ページ)を参照してアップデートしてください。

・[Texas Instruments OHCI Compliant・・・・・]の頭に!マークや×マークがある
・[I-O DATA CB1394 IEEE 1394 CardBus Card]の頭に!マークや×マークがある

原因　本PCカードと他のデバイスのリソースが競合もしくは共有(シェアリング)されている場合、正常に動作しない場合があります。

対処　使用していない機能やPCカードがあれば、取り外したり、無効にしてみてお試しください。(詳細はパソコンメーカーにご確認ください。)

接続したストレージ機器が[デバイスマネージャ]の[ディスクドライブ]に表示されない

原因　正しく接続されていない

対処　【補足 OS上で本PCカードを取り外す方法】(41ページ)を参照して、一旦本PCカードを取り外します。
再度本PCカードをPCカードスロットに挿入後、ストレージ機器の電源を入れ、本PCカードに接続し直してみてください。

・本 PC カードやストレージ機器の取り外しの際に、「取り外しができません」と表示される
・本 PC カードやストレージ機器の取り外しの際に、1分以上待っても、取り外し許可のメッセージが表示されない

原因 接続している機器をアプリケーションから使用している可能性があります。

対処 1 使用中のアプリケーションをすべて終了した後に、もう一度取り外し手順を行ってみてください。

対処 2 Windowsを終了した後に、取り外してください。

Windows を終了後、「Windows を終了しています」の表示のまま止まってしまう （Windows Me/98 SE の場合のみ）

Windows の終了を行ったにもかかわらず、「Windowsを終了しています」の表示のままで止まってしまう場合があります。その際には、下記の対処をお試しください。

対処 1

本PCカードが起因する問題か否かをテストします。
本PCカードを取り外し、現象が改善されるかどうかを確認してください。
現象が改善された場合は、以下の対処２をお試しください。
現象が改善されない場合は、パソコン本体メーカーにお問い合わせください。

対処 2

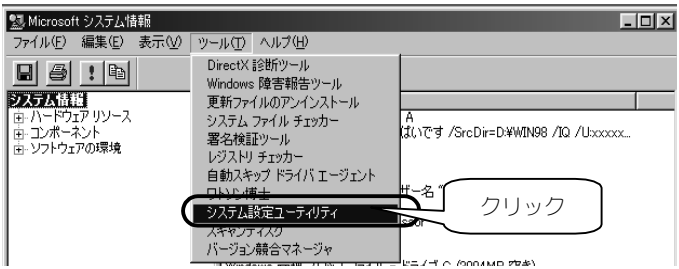
1. 本PCカードがセットされた状態で、[スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[システムツール]より「システム情報」を起動します。

（次ページへつづく）

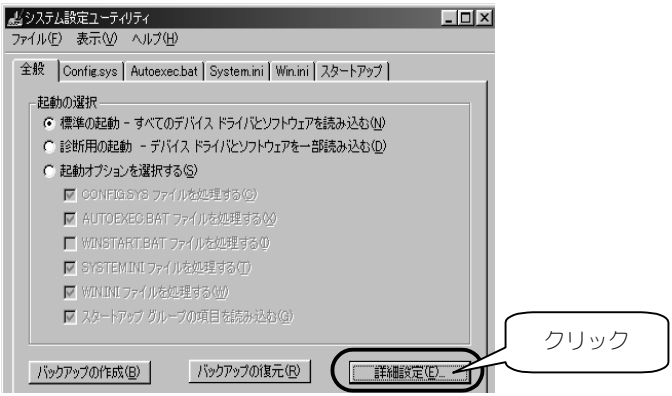
対処 2

（前ページからのつづき）

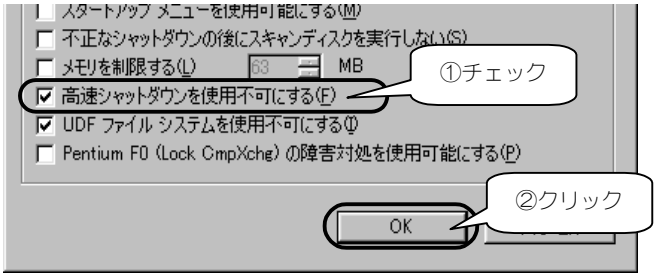
2. [ツール]メニューの[システム設定ユーティリティ]をクリックします。



3. [詳細設定]をクリックします。



4. [高速シャットダウンを使用不可にする]にチェックを入れ、[OK]ボタンをクリックします。



以上の設定後、再起動し、現象が改善されるかご確認ください。

対処３

以上の対処１および対処２でも現象が改善されない場合、Microsoft社より「Windows 98 SE Shutdown Supplement」が提供されております。
詳しくは下記URLを参照してください。

http://www.microsoft.com/japan/win98/downloads/shutdown.htm

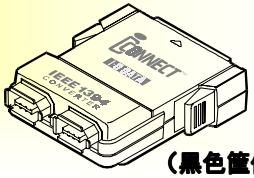
注意！

・上記URLに関する問い合わせの受け付けは弊社では行っておりません。
使用上の注意をよくお読みになった上でご使用ください。
・ホームページのアドレスは予告なしに変更または、中止になる場合があります。

接続機器への書き込み/書き戻しができない場合

以下のような異常がある場合は、本書に従って添付サポートソフトのドライバソフトをインストールしてください。

1394コンバータとストレージ製品の組み合わせで使うと、書き込みができない。



（黒色筐体）

DV機器への書き戻しができない

注意

・DV機器によっては、書き戻しに対応していない機器があります。
その場合、添付サポートソフトを使用しても書き戻しはできません。
ご使用のDV機器が書き戻しに対応しているかどうかについては、DV機器の取扱説明書を参照してください。
・パソコンの機種（CardBusコントローラ）によっては、本サポートソフトを使用しても書き込み/書き戻しができない機種もあります。

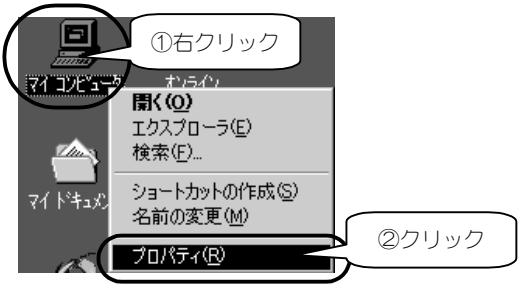
● **インストール手順はご使用のOSにより異なります。**

Windows Me/98 SEの場合 次ページへ

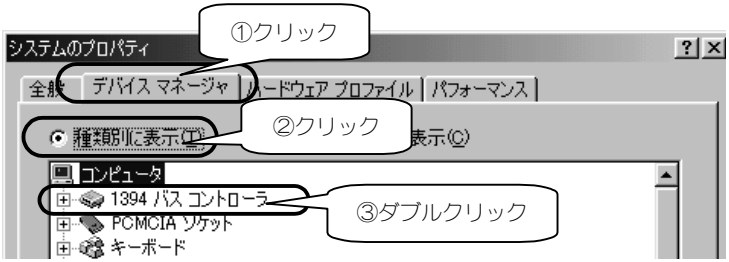
Windows 2000の場合 94ページへ

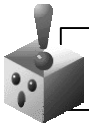
Windows Me/98 SEでのドライバの更新

1 **[マイコンピュータ]を右クリックし、メニュー内の[プロパティ]をクリックします。**



2 **[デバイスマネージャ]タブをクリックし、[種類別に表示]で[1394 バスコントローラ]をダブルクリックします。**

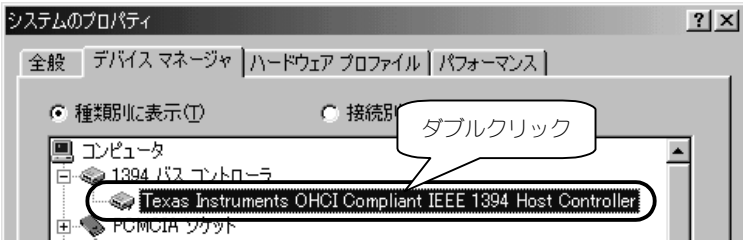




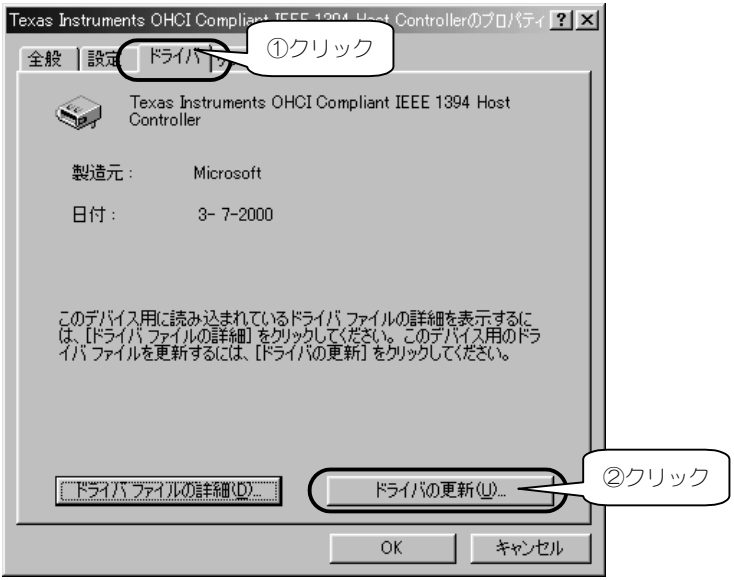
[1394 バスコントローラ]が見当たらない場合は…

「正常に動作しない場合」の 81 ページをご参照ください。

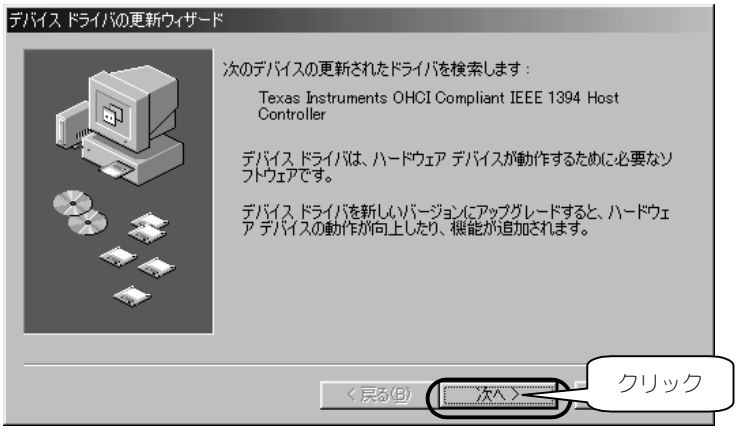
3 [Texas Instruments OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller]をダブルクリックします。



4 [ドライバ]タブをクリックし、[ドライバの更新]ボタンをクリックします。

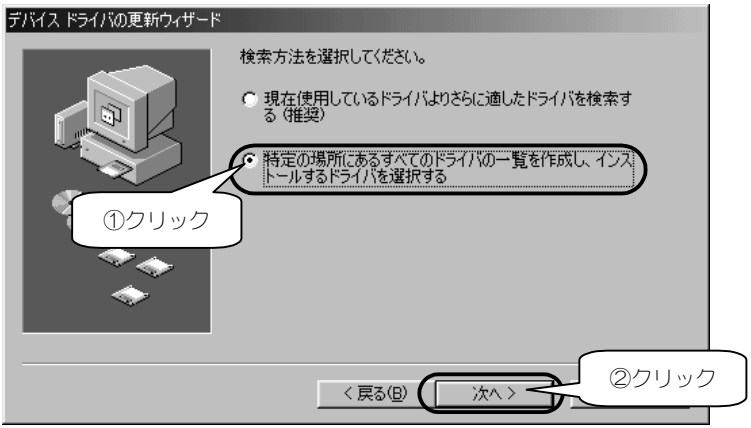


5 [次へ]ボタンをクリックします。

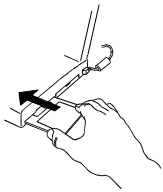


Windows Meの場合は、92ページ13へお進みください。

6 [特定の場所にあるすべての・・・・・]をクリックし、[次へ]ボタンをクリックしします。

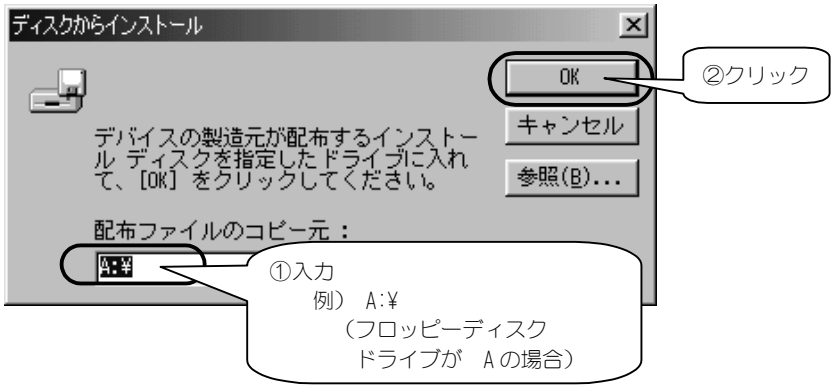


7 「サポートソフト」ディスクをフロッピーディスクドライブに挿入します。



8 [ディスク使用]ボタンをクリックします。

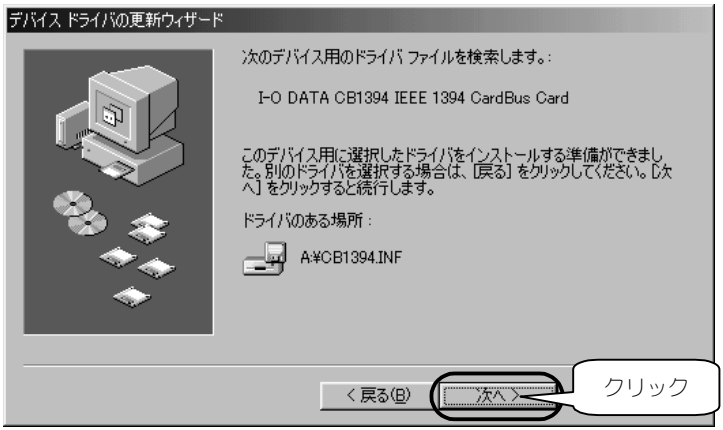
9 [配布ファイルのコピー元]にフロッピーディスクドライブ名（以下の画面では A:¥ ）を入力し、[OK]ボタンをクリックします。



10 モデル欄に[I-O DATA CB1394 IEEE 1394 CardBus Card]と表示されていることを確認後、[次へ]ボタンをクリックします。

11 以下の画面では、[はい]ボタンをクリックします。

12 [次へ]ボタンをクリックしします。



13 [完了]ボタンをクリックします。

14 [閉じる]ボタンをクリックします。

15 ［システムのプロパティ］画面を閉じてください。

以上でドライバの更新は終了です。

●更新後のドライバの表示について

更新が正常に終了すると、デバイスマネージャでの表示、および本PCカードの取り出し時には、本PCカードのドライバ名は以下のように変更されます。

［Texas Instruments OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller］

⇩

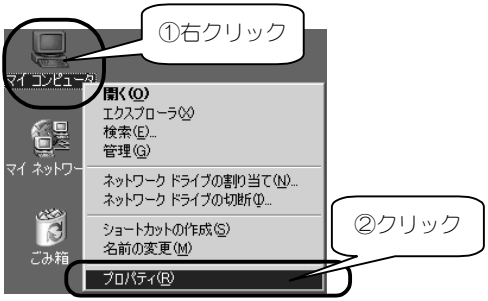
［I-O DATA CB1394 IEEE 1394 CardBus Card］

●更新したドライバを元に戻したい場合

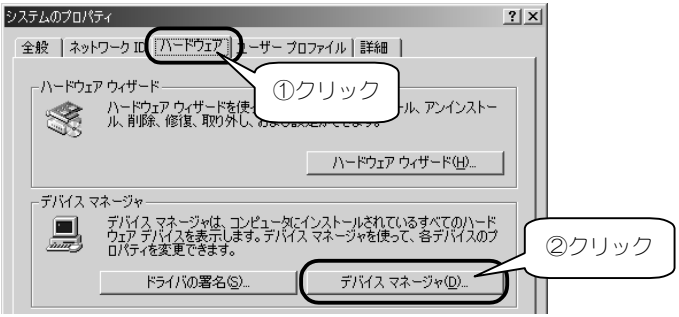
［I-O DATA CB1394 IEEE 1394 CardBus Card］を［Texas Instruments OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller］に戻したい場合は、再度87ページの手順**1**から行い、90ページ手順**8**で［Texas Instruments OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller］を選択して［OK］ボタンをクリックしてください。後は画面の指示に従ってください。

Windows 2000でのドライバの更新

1 **[マイコンピュータ]を右クリックし、メニュー内の[プロパティ]をクリックします。**



2 **[ハードウェア]タブ、続けて[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。**



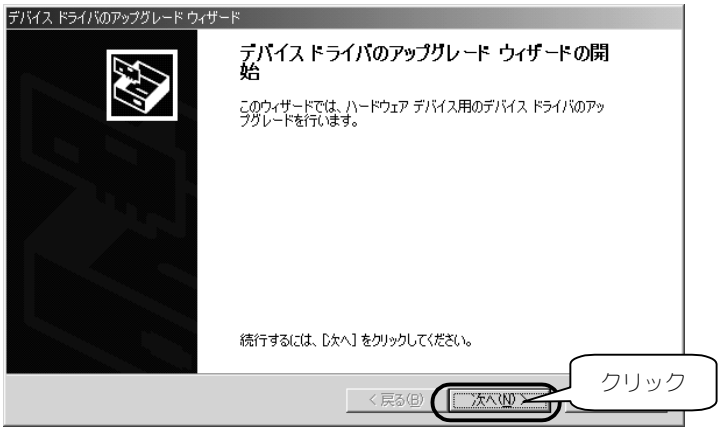
3 [1394バスホストコントローラ]をダブルクリックし、[Texas Instruments OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller]をダブルクリックします。

[1394 バスホストコントローラ]が見当たらない場合は…

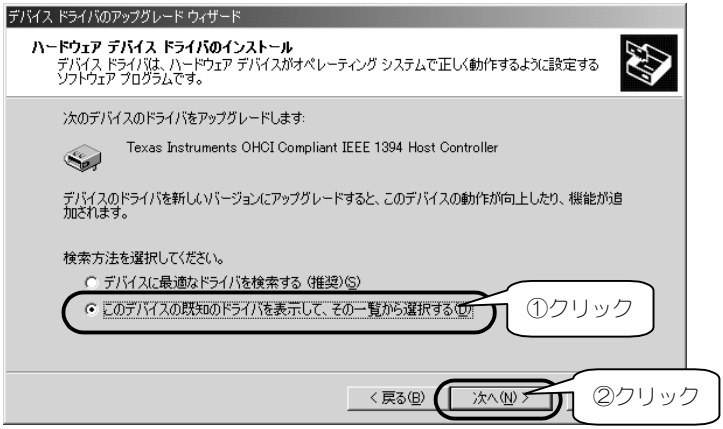
「正常に動作しない場合」の 81 ページをご参照ください。

4 [ドライバ]タブをクリックし、[ドライバの更新]ボタンをクリックします。

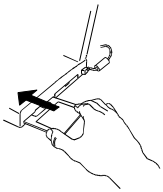
5 [次へ]ボタンをクリックします。



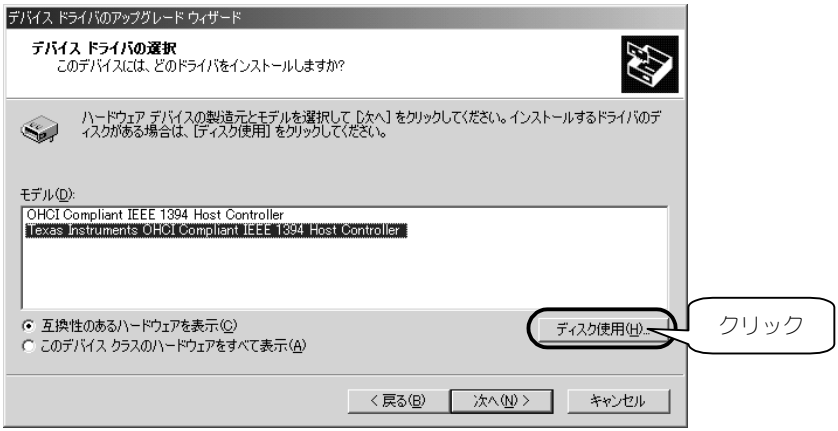
6 [このデバイスの既知のドライバを・・・・・]をクリックし、[次へ]ボタンをクリックします。



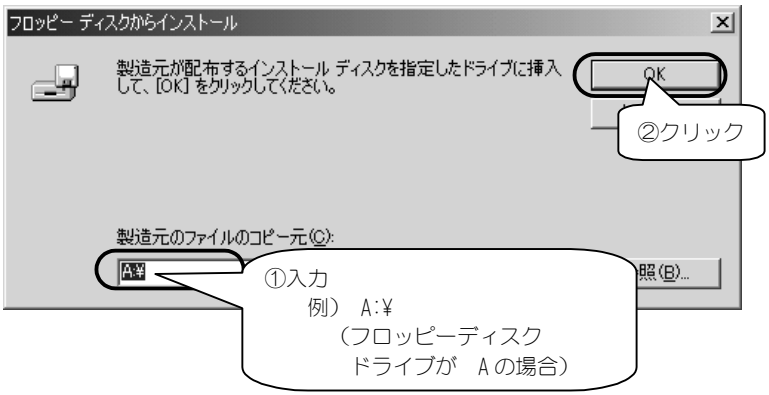
7 「サポートソフト」ディスクをフロッピーディスクドライブに挿入します。



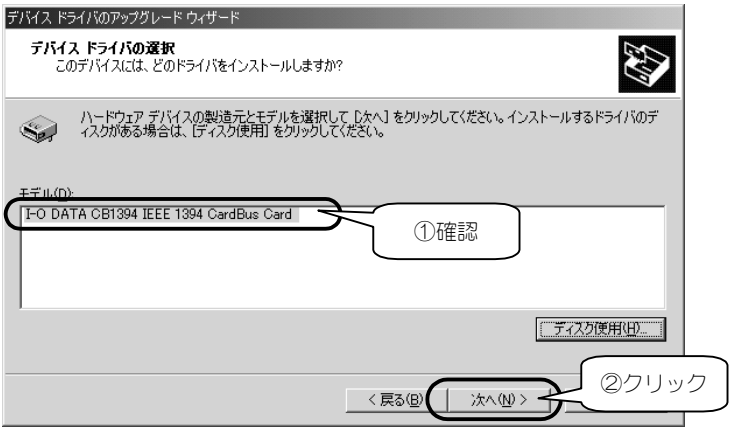
8 [ディスク使用]ボタンをクリックします。



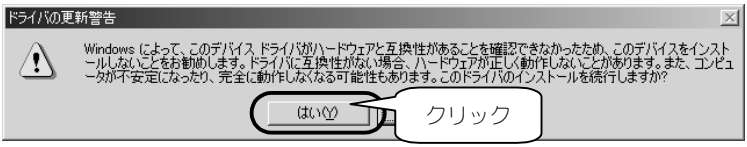
9 [配布ファイルのコピー元]にフロッピーディスクドライブ名（以下の画面では A:¥ ）を入力し、[OK]ボタンをクリックします。



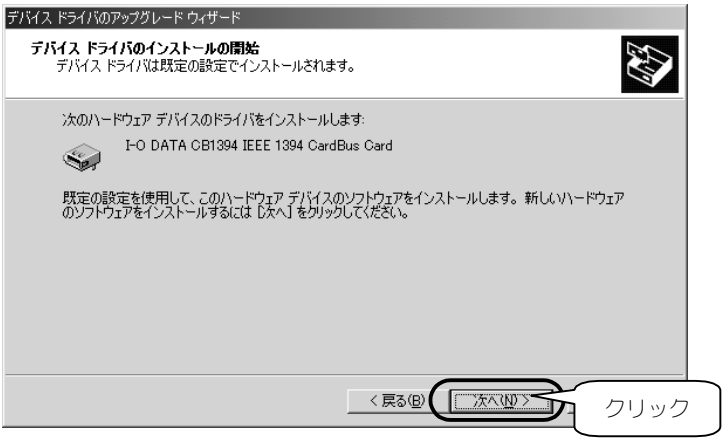
10 モデル欄に[I-O DATA CB1394 IEEE 1394 CardBus Card]と表示されていることを確認後、[次へ]ボタンをクリックします。



11 以下の画面では、[はい]ボタンをクリックします。



12 [次へ]ボタンをクリックします。



13 [完了]ボタンをクリックします。

14 [閉じる]ボタンをクリックします。

15 ［デバイスマネージャ］画面を閉じてください。

以上でドライバの更新は終了です。

●更新後のドライバの表示について

更新が正常に終了すると、デバイスマネージャでの表示、および本PCカードの取り出し時には、本PCカードのドライバ名は以下のように変更されます。

［Texas Instruments OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller］

⇩

［I-O DATA CB1394 IEEE 1394 CardBus Card］

●更新したドライバを元に戻したい場合

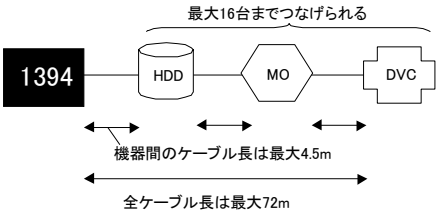
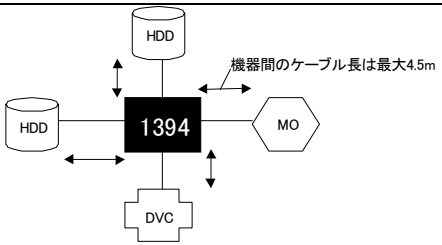
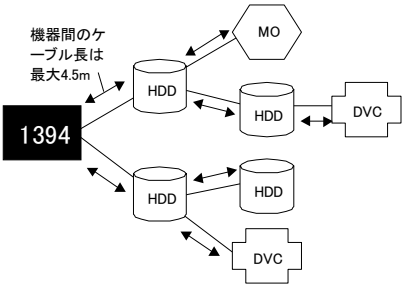
［I-O DATA CB1394 IEEE 1394 CardBus Card］を［Texas Instruments OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller］に戻したい場合は、再度94ページの手順***1***から行い、97ページ手順**8**で［Texas Instruments OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller］を選択して［OK］ボタンをクリックしてください。後は画面の指示に従ってください。

本PCカードに２台以上の機器を接続する場合

ここでは、本PCカードに2台以上の機器を接続する場合の接続形態による制限事項等を説明します。

1394機器の接続方法

1394機器の接続方法には、デイジーチェーン接続、スター接続、ツリー接続があります。

接続方法	接続例
デイジーチェーン （機器同士を数珠状に接続する方法）	
スター （1394インターフェイスを中心にスター(星)状に接続する方法）	
ツリー （各機器から枝別れさせて接続する方法）	

1394 ：本PCカード等の1394インターフェイス

HDD ：ﾊｰﾄﾞﾃﾞｨｽｸ

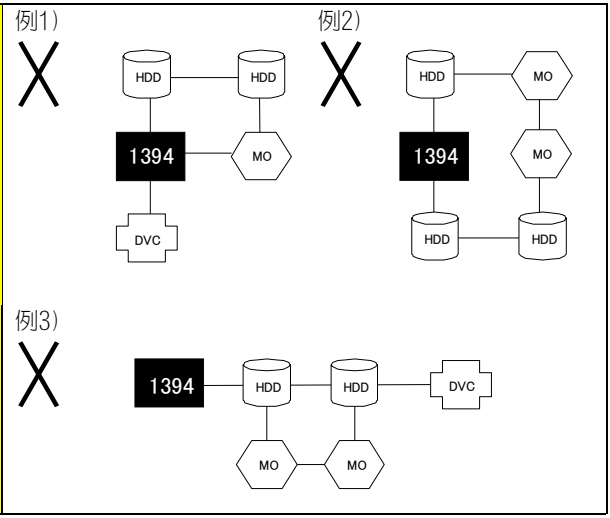
MO ：MOﾄﾞﾗｲﾌﾞ

DVC ：DVC（ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾋﾞﾃﾞｵｶﾒﾗ）

以下の①および②の様な接続で機器を使用することははできません。

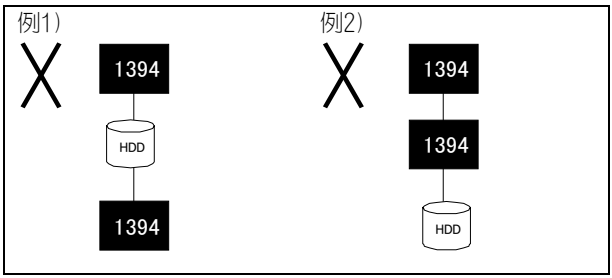
①ループ接続

ループ
（1394インターフェイスおよび機器間をループ状に接続する方法）



②ドライブ機器を複数のパソコンで共有して使用

下記のような接続の場合、基本的には先にハードディスクを認識したパソコンでしかハードディスクを使用することができない、もしくは両方のパソコンでアクセスができなくなる場合があります。



接続可能台数とケーブル使用可能本数

本PCカードには、最大63台の1394機器を接続することができます。
（デイジーチェーン接続のみでは16台まで）

注意

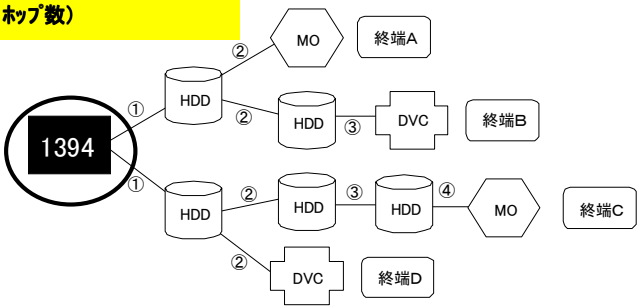
IEEE 1394の仕様としては1394機器を63台接続できますが、
Windows 側のドライブアサイン（ドライブ番号）の問題等で純粋にハードディスク等のストレージ機器を63台接続してもすべてを使用することはできません。

また、1394インターフェイスから終端の機器間で使用できるケーブル数は最大16本（最大16ホップ）です。

ホップとは？

ある単位の1394機器から他の1394機器をながめた時、中間に何台の機器が接続されているかをカウントする場合に、使用する用語です。
実際には、中間の台数だけでなく、最後の1台もカウントに含めます。

本PCカードから見たケーブル数（ﾎｯﾌﾟ数）

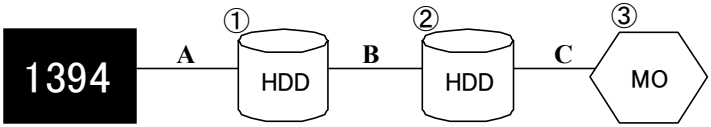


例えば、本PCカードから
終端AのMOドライブまでのケーブル数（ﾎｯﾌﾟ数）は2
終端BのDVCまでのケーブル数（ﾎｯﾌﾟ数）は3
だと分かります。

複数の機器を接続中に取り外すには

パソコンに複数のIEEE 1394機器を接続している場合、取り外す際に注意が必要です。

下の図のように連続したIEEE 1394機器がある場合は、取り外す機器より後ろのIEEE 1394機器をすべて「停止」（取り外す前の作業）を行ってから、取り外してください。（詳細は、【ストレージ機器の正しい取り外し手順】(74ページ)を参照してください。）



例えば、①の機器のみを取り外す場合は、

1. **②と③を「停止」します。**
2. **①を「停止」します。**
3. **Aを取り外します。**
4. **BをIEEE 1394ポートに接続します。**

③を取り外す場合は、

1. **③を「停止」します。**
2. **Cを取り外します。**

用語解説

DV方式

HDデジタルVCR評議会により標準化されたビデオ映像をデジタルデータの形式で圧縮しテープに記録する規格。SD仕様と高品位規格のHD仕様があり、
本PCカードではSD仕様に対応している。
このDV規格は規格書の色から通称"Blue Book"と呼ばれることも多い。

DV-SD仕様の特徴
　映像データ形式はYUV=4:1:1(NTSC)または4:2:0(PAL)で圧縮率1/5
　音声データ形式は16bit/48KHz(2ch)と12bit/32KHz(4ch)の２種類

DV端子

主に民生用のDV機器に使われているデジタル映像の入出力端子で、4pin形状のコネクタが採用されている。

IEEE 1394（アイトリプルイー）

パソコン周辺機器の高速データ転送用の技術としてApple社で開発が始まり、IEEE(米国電気電子技術者協会)により正式規格として制定された規格。
その規格番号から一般的にIEEE 1394と呼ばれる。
SONYがデジタルビデオカメラのインターフェイスとして採用したことで家電業界を中心に普及が進んでいる。

i.LINK（アイ　リンク）

IEEE 1394-1995仕様およびその拡張仕様の名称としてSONYが提唱している呼称。

仕 様

インターフェイス	IEEE 1394-1995、1394a-2000、1394-OHCI準拠
IEEE 1394端子	６ピン×２ポート
転送方式	Asynchronous※／Isochronous※
転送速度	100/200/400Mbps
IEEE 1394機器への供給電源	12V/0.75A （9W）……２ポートの合計値 *別売のACアダプタ（1394-ACADP）をご使用ください。
割り込み（IRQ）	Plug & Playシステムによる自動設定(１ヶ使用)
パソコン側インターフェイス	PCカード規格準拠TypeⅡ CardBusスロット
消費電流	+3.3V…最大0.3A
動作環境（温度）	+5℃～+35℃
動作環境（湿度）	35%～80%
サイズ	121mm×55 mm×14mm
質量	45g

※ Isochronous転送方式 ：125μ秒毎に一定量のパケットを送受信を行う方式。
映像データや音声データなどに向いています。
Asynchronous転送方式：Isochronous転送方式に比べて優先順位が劣ります。
ファイル転送などに使われます。

サポートセンターへのお問い合わせ

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及びFAX番号
2. ご使用の弊社製品名。
3. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
4. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. 現在の状態(どのようなときに、どうなり、今はどうなっているか。画面の状態やエラーメッセージなどの内容)。

■オンライン

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ　　http://www.iodata.co.jp/support/

■郵便

住所　〒920-8513
石川県金沢市桜田町2丁目84番地　ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「CB1394シリーズ」係　宛

■電話

電話番号　本社　076-260-3688
東京　03-3254-1095
受付時間　9:30～19:00
月～金曜日（祝祭日を除く）

■FAX

FAX番号　本社　076-260-3360
東京　03-3254-9055
宛先　株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「CB1394シリーズ」係　宛

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターのみで行っています。
予めご了承ください。

サービス品に関するお問い合わせ

サービス品については、以下へお問い合わせください。

サービス品に関するお問い合わせ

添付のサービス品『VideoStudio』および『COOL 3D SE』に関しては、ユーリード社まで

●お問い合わせ先

ユーリードシステムズ株式会社ユーザーサポート係

電話番号　03-5491-5662

FAX番号　03-5491-5663

ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　http://www.ulead.co.jp

E-mail　support@ulead.co.jp

受付時間　平日 10:00～12:00　13:00～17:00

サポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。

■オンライン

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ　http://www.iodata.co.jp/　→「ｻﾎﾟｰﾄ･ﾗｲﾌﾞﾗﾘ」

■サービス窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。（送料及び手数料はお客様負担）

住所　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地 ｱｲ･ｵｰ・ﾃﾞｰﾀ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「CB1394シリーズ」 サービス窓口　宛

電話番号　076-260-3663

受付時間　9:30～12:00 13:00～17:00 月～金曜日（祝祭日を除く）

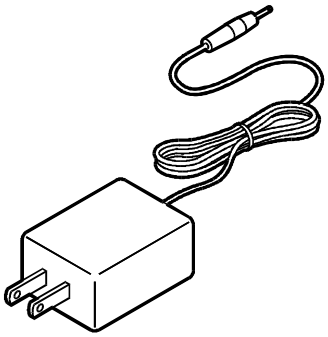
ご注意

●オンラインによるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。
●添付ソフトウェアの中には、当サービス対象外のソフトウェアもあります。

オプション品について

本PCカードでバスパワーの機器を使用する場合には、以下の別売のACアダプタ（1394-ACADP）を別途ご購入ください。

1394-ACADP・・・・12V、1.2Aを供給



保証について

◎ 保証期間

・保証期間は、お買い上げの日より１年間です。保証期間を過ぎたものや、保証書に販売店印とお買い上げ日の記述のないものは、有料修理となります。また、修理を受ける場合には保証書が必要になりますので、大切に保管してください。（添付のハードウェアシリアルNo. シールを必ずお貼りください。）

・弊社が販売中止を決定してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
詳細は、ハードウェア保証書をご覧ください。

◎ 保証範囲

次のような場合は、保証の責任を負いかねます。予めご了承ください。

・本製品の使用によって生じた、データの消失及び破損。

・本製品の使用によって生じた、いかなる結果やその他の異常。

・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障。

修理について

弊社製品の修理につきましては、以下の事項をご確認のうえ、販売店へご依頼いただくか、または下記修理品送付先までお送りくださいます様、お願いいたします。

- 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
  また、修理品のデータに関しましては保証いたしかねます。

- 修理品にはご使用の環境や現在の状態（『サポートセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」）をお書き添えください。

- 保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。
  ◇保証書がない場合
  ◇保証書の所定事項が未記入の場合
  ◇逆挿入など誤った操作方法や、お買い上げ後の輸送、落下、取り付け場所の移設による破損、故障の場合
  ◇落雷などの事故による破損の場合
  ◇本製品を改造した場合

- 保証期間後は有償で修理いたします。
  製品によっては主要部品がユニット化（一体化）されている場合があります。これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実費で行います。

- 修理品送付先

住所　〒920-8513
石川県金沢市桜田町2丁目84番地　アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「CB1394シリーズ」 修理係　　宛

※修理品を送付される場合は、輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材を使用してください。また、紛失等のトラブルを避けるため、宅配便または書留郵便小包でのご送付をお願いいたします。

- 修理品納期問い合わせについて

受付窓口　「CB1394シリーズ」 サービス窓口
電話番号　本社　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00　月～金曜日（祝祭日を除く）

※申し込まれた修理品の納期をお知りになりたい場合は、こちらまでお問い合わせください。

CB1394シリーズ 取扱説明書
2001.Oct.1　65523-02
発　行　　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

©2000-2001 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品及び本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。